

第2回 令和4年度新潟県内の冬期道路に関する対策検討会

令和5年3月23日(木) 10:00～

長岡国道事務所 4F 会議室

次 第

1. 開 会
2. 挨拶 座長（長岡技術科学大学 佐野教授）
3. 議題
 - (1) 令和4年12月 集中降雪を踏まえた対応について
 - (2) その他
4. 閉会

第2回 令和4年度新潟県内の冬期道路に関する対策検討会

委員名簿

(敬称略、順不同)

○: 検討会座長

○	さ の 佐野	か ず し 可 寸 志	長岡技術科学大学 環境社会基盤系 教授
	か み い し 上 石	い さ お 勲	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 特任参事
	つ ち だ 土田	や す ゆ き 泰之	公益社団法人 新潟県トラック協会 専務理事
	ま る や ま 丸 山	ゆ か 結 香	有限会社マックス・ゼン パフォーマンスコンサルタント代表取締役
	さ と う 佐藤	た け と し 健 俊	NEXCO 東日本 新潟支社 事業統括課長
	か わ か み 川 上	け い す け 圭 介	NEXCO 東日本 新潟支社 長岡管理事務所長
	こ や ま 小 山	あ き お 明 生	新潟県 土木部 道路管理課長
	な が た 長 田	ひ で か ず 英 和	国土交通省北陸地方整備局 道路情報管理官
	き む ら 木 村	ゆ う じ 祐 二	国土交通省北陸地方整備局 長岡国道事務所長

[第2回 対策検討会]

令和4年12月長岡・柏崎地域の大雪を踏まえた 冬期道路の対応について

目 次

1. 第1回検討会 議事概要	1
2. 当面の対応の実施状況（概要）	2
2-1. 1月寒波時の対応状況	4
2-2. 情報提供・出控え広報強化	7
3. 各自治体等の対応状況	10
4. 次年度以降に向けた対応	11
4-1. 渋滞・車両滞留発生への対応	13
4-2. 広報・情報提供のあり方	23

令和5年3月23日

令和4年度新潟県内の冬期道路に関する対策検討会 事務局

1. 第1回検討会 議事概要

令和4年度新潟県内の冬期道路に関する対策検討会 議事概要

1. 日時:令和5年1月23日(月) 10:00～11:45

2. 各委員からの主な意見

対応の方向性	委員からの主な意見	オブザーバーからの主な意見
(1)行動計画見直しに関する事項	①高速道路の早期解放にむけて弾力的な車線運用(走行車線+緊急車両用の通行帯)が必要。警察とよく調整すべき ②高速ICアクセス道路の除雪対応の明確化・緊密な連携(県・自治体の除雪体制強化) ③降雪量の閾値「2連続5cm/h」の検証及び観測方法の確立 ④高速道路と国道の同時通行止めは効果的であり、早期の実施判断が重要	①同時通行止めはやむを得ないが、早期解放をお願いしたい。また、高速道路上の事故多発については警察との連携をお願いしたい。 ②市としても相互除雪に協力していきたい。
(2)災害対策基本法の運用見直しに関する事項	①車両牽引は、荷主の了解が必要であり運転手は自己判断が困難。 ②乗用車のスタックに起因する後続のトラックの立ち往生も発生 ③強制的に道路への流入を規制するような措置も必要	-
(3)各種情報提供及び出控え広報の強化に関する事項	①行動変容につながるよう、さらに具体的な情報提供を実施すべき ・出控え要請に関して用語を含め工夫が必要 ・住民に一番近い市町村から、情報を発信していくような工夫も必要 ②トラック運行計画見直しや牽引拒否について、荷主の理解が最重要 ・トラックの立ち往生については、荷主とその後背にいる消費者に対する広報が必要 ・新潟県内だけでなく広く全国に発信すべき ③高速道路での事故多発については、実勢速度を低減させる取組みの検討が必要	①市に、国道に関する問い合わせが多数あったため、リアルタイムな情報提供をお願いしたい。
(4)乗員保護に関する事項	①トラック協会も滞留車への支援物資の運搬に協力している。	-
(5)その他	①反省点だけではなく、良かった点を評価することも重要	-

2. 当面の対応の実施状況（概要）

- 1月の寒波時には高速道路と連携し同時通行止めによる集中除雪を実施し、早期に国道の走行性を確保（除雪作業もスムーズに進捗）
- 早期に情報連絡本部を設置し、冬期道路情報共有サイトを活用し関係機関と各種情報を共有
- 28日には、降雪量閾値を観測するも、その前からの通行止め・集中除雪により交通が確保できていたため、災対法適用は不要と判断

方向性	見直し項目	内 容	実 施 状 況	今後の対応策
行動計画 見直し	降雪量による 行動計画	● 閾値：10cm/時間、2連続5cm/時間による行動計画策定【国道】 ・実測値判断により機械的に通行止めによる集中除雪を実施 ・予防的通行規制区間の代表観測所を設定（長岡：川崎、柏崎：日吉町） ・国道事務所の監視員による降雪量の24時間監視を実施 ● 関係機関と実測降雪量を共有（情報連絡本部開設時）【国道】 ・共有サイトを活用し長岡国道事務所より情報連絡本部構成機関へ随時情報共有を実施 ・降雪予測に加え実測値共有による道路ネットワーク全体への注意喚起を強化 ・顕著な降雪（5cm/h）観測時はSNS等によりメディア及び道路利用者に情報提供	● 閾値：10cm/時間、2連続5cm/時間による行動計画策定【国道】 ・代表観測所を設定、CCTV及びテレメータデータによる降雪量の24時間監視を実施 ※1月寒波時は、降雪予測及び実測による行動計画に基づき、高速道路と連携して同時通行止めによる集中除雪を実施 ● 関係機関と実測降雪量を共有（情報連絡本部開設時）【国道】 ・共有サイトの活用、情報連絡本部会議により、降雪予測、実測値を関係機関で共有し、道路ネットワーク全体への注意喚起を強化 ・顕著な降雪観測時は、遅滞なく道路利用者に対しSNSにより路面状況や気象情報等を情報提供	・今後、閾値による行動計画を実行するにあたり、来冬に向けて訓練を実施し、実行力を高める。 ・実測降雪量の共有により、構成機関内で状況認識の統一が図られており、今後も継続して取り組む。
	情報連絡本部 設置基準 の追加	● 閾値により情報連絡本部設置を自動化【国道】 ・従来の設置基準に加え降雪量による設置基準を設定 ・情報共有タイミング、方法、内容等を関係機関と再協議	● 閾値により情報連絡本部設置を自動化【国道】 ・降雪量による設置基準を設定 ※1月寒波時は、降雪予測及び実測による設置基準により早期に情報連絡本部を設置し、情報の共有を実施。 ・情報連絡本部会議時に、気象の見通し、集中除雪・通行止め情報（区間、開始・解除の予定等）は、Web会議により早い段階から双方向で情報を共有、気象予測、実測値等の情報は共有サイトを活用することを協議。情報連絡本部会議の中で、自治体を通じた出控え広報の実施を依頼	・今後、閾値による情報連絡本部の設置を遅滞なく実行するため、来冬に向けて訓練を実施し、実行力を高める。 ・構成機関相互で共有する情報内容について確認し、それぞれが必要とする情報を共有。引き続き、相互で有用な情報が共有できるよう冬前に協議を実施
	国道・高速道路 の同時通行止め	● 国道・高速道路の同時通行止【国道・高速共通】 ・国道と高速道路のどちらかにおいて交通障害が発生した場合、緊密な連携のもと躊躇なく同時通行止めを実施 ・降雪地域への交通流入抑制（広域迂回誘導の強化、必要に応じたUターン処理等）を実施	● 国道・高速道路の同時通行止【国道・高速共通】 ・1月寒波時は、高速道路と連携して延べ9区間で同時通行止めを実施。本部会議を通じて、関係機関と通行止め情報（区間、開始・解除の予定等）を共有 ・規制区間の起終点でUターン規制を実施し、交通流入を抑制	・交通流入が抑制され、集中除雪がスムーズに進捗。引き続き、同時通行止めの際は、国道、高速道路で緊密に連携して実施
災害対策基本 法の運用見直し	指定基準の設定	● 降雪量の閾値による災対法区間指定【国道】 ・予防的通行規制区間は降雪量閾値により災対法運用を実施	● 降雪量の閾値による災対法区間指定【国道】 ・1月寒波時は、降雪予測及び実測による行動計画に基づき同時通行止め、集中除雪を実施しており、車両滞留の発生が見込まれなかったため、災対法区間指定は不要と判断	・車両滞留が発生する恐れがある場合は、閾値により遅滞なく災対法区間指定するものとし、来冬に向けて訓練を実施し、実行力を高める
	周 知	● 荷主及び車両管理者への牽引等に関する周知【国道】 ・車両移動措置について、関係団体を通じ荷主及び車両管理者に対する事前周知を徹底	● 荷主及び車両管理者への牽引等に関する周知【国道】 ・1月寒波時は、通行止め等の記者発表内容を、整備局から荷主団体を通じて荷主に事前の情報提供を実施 ・通行止によるUターン規制時に、車両移動に関するチラシを作成してドライバーに配布、ドライバーを通じた車両管理者等への周知を実施	・トラック協会等の運送事業者、荷主団体と協力関係を構築し、事前周知を徹底

2. 当面の対応の実施状況（概要）

- 新たに2区間を予防的通行規制区間に追加
- 関係機関との情報共有に加え、早期に記者発表やTwitter等による広報を展開
- 寒波中の交通量は最大で前週比3割減少しており、出控え広報による効果が一定程度あったものと推察

方向性	見直し項目	内 容	実 施 状 況	今後の対応策
予防的通行 規制区間の 追加	長岡地区	●長岡市福島から小千谷市木津区間の予防的通行規制区間を新設【国道】 ・閾値による除雪梯団の運用方針を共有化 ・受注者等による通行規制要員の確保	●長岡市福島から小千谷市木津区間の予防的通行規制区間を新設【国道】 ・閾値による除雪梯団の運用方針について、監督員と除雪業者で共有し、除雪作業計画書に明記して運用中 ・1月寒波時は、建設業協会の協力による通行規制を実施	・閾値に基づき、出遅れのない的確な梯団運用を徹底 ・建設業協会と定期的に調整を図り、規制要員確保の協力体制を構築
	柏崎地区	●柏崎市米山台から同市曽地間の予防的通行規制区間を新設【国道】 ・閾値による除雪梯団の運用方針を共有化 ・柏崎市日吉町から天神町間を通行止めし、新潟県管理区間(国道252号)を含む柏崎バイパスへの交通誘導を実施 ・降雪期間を通じた除雪車の事前配備 ・受注者等による通行規制要員の確保	●柏崎市米山台から同市曽地間の予防的通行規制区間を新設【国道】 ・閾値による除雪梯団の運用方針について、監督員と除雪業者で共有し、除雪作業計画書に明記して運用中 ・1月寒波時は、通行止めによる集中除雪の際、上越方面走行車両を国道252号を含む柏崎バイパスに交通誘導。国道252号の除雪は、道路管理者（県）と調整し、相互除雪も含め遅滞なく対応（例：1/27は調整の上、長岡国道が国道252号を除雪） ・新赤坂除雪STに牽引車両（除雪グレーダ1台）を増強して配備。閾値付近の降雪が予測された場合は、青海川PAに事前待機して立ち往生車両を牽引 ・1月寒波時は、建設業協会において通行規制要員を確保	・閾値に基づき、出遅れのない的確な梯団運用を徹底 ・緩勾配で立ち往生リスクが低い柏崎バイパス区間の交通確保を最優先し、市街地部での大規模滞留を抑制する方針を引き続き継続 ・今後も立ち往生車を速やかに排除する体制を確保 ・建設業協会と定期的に調整を図り、規制要員確保の協力体制を構築
各種情報 提供及び 出控え広報 の強化	各事象毎の 情報内容の 追加	●巡回強化などによる安全運転の徹底【高速】 ●出控え広報【国道・高速共通】 ・出控え広報等を継続し、大雪時の交通量を抑制（道路情報板、SA・PAデジタルサイネージ、SNS、インターネット広告、トラック協会への依頼等） ・毎日、定時（6時、16時）の情報提供（路面状況：Twitter）において、大雪時の不要不急の出控え広報を追加 ●事前準備【国道】 ・広報内容及び体制、タイミングを行動計画において事前設定 ・気象（降雪）情報を踏まえた渋滞状況調査人員（地元業者等）の事前確保 ●大雪警報発表時【国道】 ・道路情報板で「大雪警報発表中」と「不要不急の出控え」表示、毎日の情報提供頻度増 ●事象発生時：立ち往生車発生【国道】 ・立ち往生車の情報提供、マスコミに対し定時の記者発表の実施 ・滞留しているドライバー向けに定時での情報発信（今後の見通し、乗員保護活動等） ・Twitterによる「大型車チェーン必要」の情報発信 ・乗員保護活動時にドライバーへの情報提供（Twitter、HPのQRコード）	●巡回強化などによる安全運転の徹底【高速】 ・事故の多くなる通勤時間帯での道路巡回車による巡回を強化 ●出控え広報【国道・高速共通】 ・道路情報板、SNS、記者発表等により早期に情報を発信 ・Twitterによる情報発信は、1/20～1/29の間で計142回実施 ・毎日の定時情報に不要不急の出控えを追加して情報を発信。大雪時は概ね1時間毎、降雪が弱まってからも2、3時間毎を目安に各地区ごとの路面状況・除雪状況等の情報発信を実施 ●事前準備【国道】 ・閾値による行動計画を策定し、広報内容等について事前設定 ・建設コンサルタンツ協会へ渋滞状況調査の協力を要請し人員を事前確保（実働なし） ●大雪警報発表時【国道】 ・道路情報板等による情報提供、Twitterの定時情報の頻度増（定時（6時、16時）に加え、20時に気象情報、不要不急の出控え情報発信を実施） ●事象発生時：立ち往生車発生【国道】 ・立ち往生車発生・解消に関する情報をTwitterで即時に情報発信 ・1月寒波時は、車両滞留の発生はなかった。車両滞留が発生した場合は平面図等を用いた情報発信を実施予定 ・大雪が予測された場合、立ち往生車が発生した際は、定時の情報提供に合わせて、対象地域を示したTwitterによるチェーン装着の情報発信を実施。 ・1月寒波時は、乗員保護活動の実績はなし。配布用資料を事前に作成済	・引き続き、道路利用者（物流事業者、荷主含め）に出控えや通行回避等の行動変容を促すよう、即時性の高い情報発信を検討し実施 ・予測を上回る降雪があった場合は、閾値による行動計画に基づき、遅れや不足のない広報を実施 ・建設コンサルタンツ協会と定期的に調整を図り、現地調査要員確保の協力体制を構築

2. 当面の対応の実施状況

2-1. 1月寒波時の対応状況

- 早期に情報連絡本部を設置し、Web会議（常時接続）、冬期情報共有サイトを活用し関係機関と各種情報を共有
- 1月の寒波時には広範囲の通行止めも想定されたことから、3圏域（長岡、柏崎・与板、魚沼・南魚沼）合同で情報連絡本部を設置

【圏域Web会議実績】

1/20（金）	11:00	緊急発表に伴う共同会見
	15:00	3圏域合同 1月寒波に向けた気象情報の共有、体制の確認
1/24（火）	10:30	気象予測の共有、道路状況の確認（以降Web常時接続）
	14:15	気象予測、通行止め予定情報の共有
	16:10	気象予測、通行規制状況の共有
	18:30	通行止め解除時刻の共有
1/25（水）	9:00	昨日からの状況、気象予測、今後の対応方針の共有
	13:30	気象予測、今後の対応方針の共有
	16:30	気象予測、今後の体制の共有
	21:00	気象予測、今後の除雪体制の共有
1/26（木）	11:30	気象予測の共有、道路状況の確認
	14:00	降雪状況の共有と質疑応答
	15:00	現状と実測値の共有
1/27（金）	11:00	状況確認、気象情報の共有
	16:40	気象予測の共有、今後の体制の確認
1/28（土）	9:30	予防的通行止めの説明・調整
	14:30	予防的通行止め開始見込の共有・質疑応答
	16:50	予防的通行止め開始時刻の共有・質疑応答
	21:15	気象予測、通行規制状況の共有
1/29（日）	2:30	気象予測、通行規制状況の共有
	5:10	通行止め解除時刻の共有

※上記の外、必要に応じ個別に情報共有、調整を図った

【3圏域合同会議 実施状況】



【冬期情報共有サイト】

長岡国道冬期情報共有サイト

～立ち往生等が発生しないための情報共有サイト～

注意事項

- ・最新の情報を確認するための【情報更新】ボタンで最新情報を取得して下さい。
- ・情報共有サイトで取得した情報は、関係機関の了承を得てから実施して下さい。
- ・情報共有サイトの利用にあたっては、別途「運用マニュアル」に基づき実施して下さい。
- ・情報共有サイトの「発表内容」は、配信しないようになっています。
- ・道路情報の提供にあたっては、個人情報が含まれるようにはなりません。
- ・この情報共有サイトは、道路管理関係機関間の情報共有や情報提供を目的としたサイトです。このため、外部には非公開のサイトとなっております。

投稿する

運用マニュアル(PDF)

表示する投稿

定期報告

道路の現状

- NEXCO管理道路
- 新潟県道
- 県管理道路
- 市管理道路等

すべて

長岡圏域

柏崎・与板圏域

魚沼・南魚沼圏域

長岡国道事務所

2023.01.28 10:44:24

【情報共有】28日14時半 3圏域合同Web会議メモ

簡単なメモを作成しました。圏域メンバーの皆様、適宜ご確認をお願いします。

2023.01.28 15:00:20

【長岡国道】14時30分記者発表 「集中的な除雪作業を実施します」

【NEXCO東日本 長岡管理事務所】雪水予測の共有 1/28（土）11:00時点

NEXCO東日本 長岡管理事務所 1/28（土）11:00時点の雪水予測を共有いたします。

長岡圏域 柏崎・与板圏域 魚沼・南魚沼圏域 長岡国道事務所

2023.01.28 10:44:24

【情報共有】28日9時3圏域合同Web会議メモ

重要な会議内容でしたので、簡単ですがメモを作成しました。適宜ご確認をお願いします。

長岡圏域 柏崎・与板圏域 魚沼・南魚沼圏域 長岡国道事務所

2023.01.28 09:09:56

【長岡国道】3圏域合同Web会議 1/28 9:30～

本日9時30分より3圏域合同Web会議を実施します。可能な場合、ご参加をお願いいたします。

長岡圏域 柏崎・与板圏域 魚沼・南魚沼圏域 長岡国道事務所

2023.01.28 10:44:24

【情報共有】28日9時3圏域合同Web会議メモ

重要な会議内容でしたので、簡単ですがメモを作成しました。適宜ご確認をお願いします。

長岡圏域 柏崎・与板圏域 魚沼・南魚沼圏域 長岡国道事務所

2023.01.28 10:44:24

【情報共有】28日9時3圏域合同Web会議メモ

簡単なメモを作成しました。圏域メンバーの皆様、適宜ご確認をお願いします。

長岡圏域 柏崎・与板圏域 魚沼・南魚沼圏域 長岡国道事務所

2023.01.28 10:44:24

※夜間、休日においてはWeb会議に参加できない機関もあるため、議事内容メモを共有サイトに投稿することにより、情報共有を図った

【Web会議 実施状況】



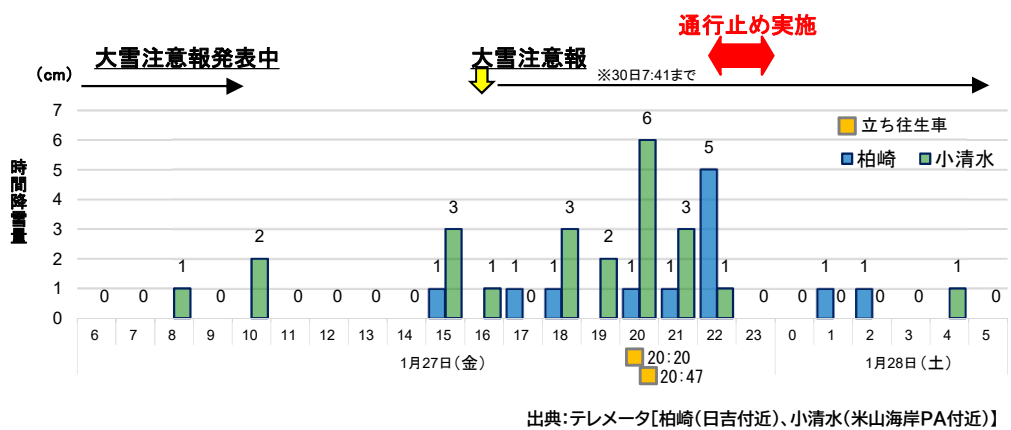
2. 当面の対応の実施状況

2-1. 1月寒波時の対応状況（柏崎）

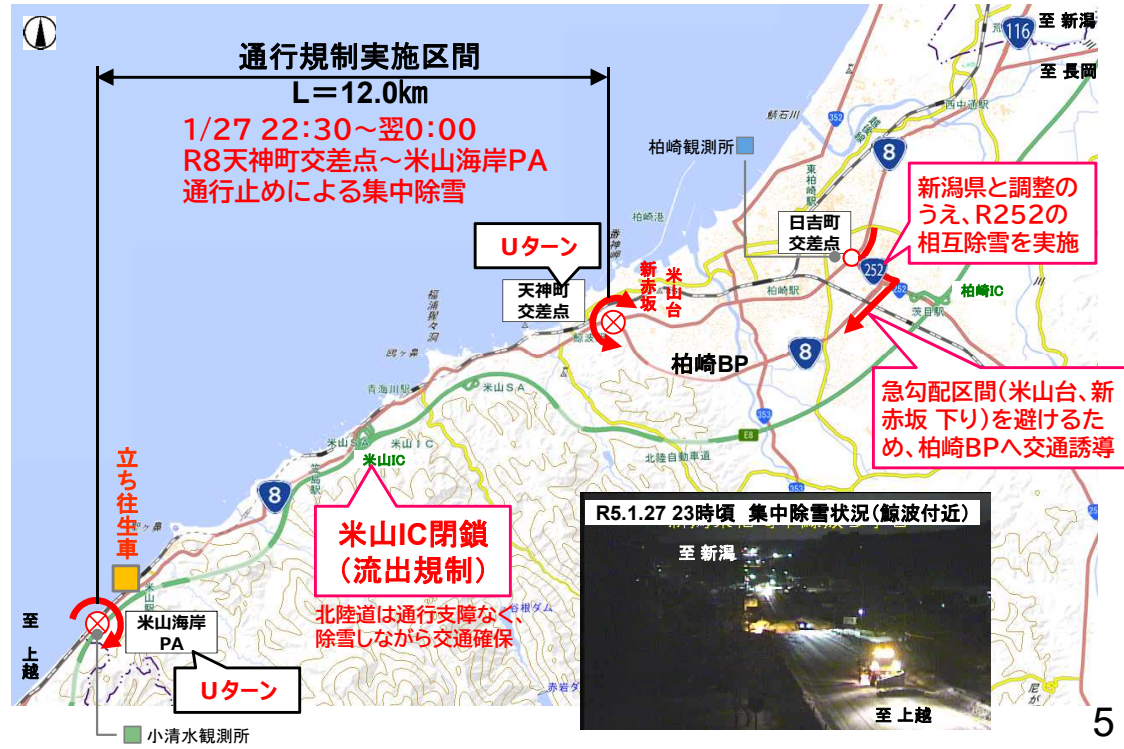
- 27日20時台に国道8号米山付近にて立ち往生車が発生。特に海岸部の米山付近での降雪が顕著なため通行止めによる集中除雪を実施
- 通行止めによる集中除雪により、通行止め時間1時間30分で路面状況を回復し走行性を確保

柏崎地区の通行規制実施例(R5.1.27)

- [対応時系列]
- 27日 10:00 記者発表:通行止めの可能性のある区間について
 - ・27日夜から28日にかけて平地を含め大雪予報。同時通行止めの可能性
 - ・外出抑制や事業者への日程調整のお願い
 - 27日 21:30 国道8号通行止め実施に関する関係機関協議の実施
 - 27日 22:30 記者発表:通行止め実施
 - ⇒ 国道8号通行止めによる集中除雪開始
 - 28日 00:00 集中除雪完了、通行止め解除（通行止め1時間30分）
- [対応の詳細]
- ・国道8号 天神町交差点～米山海岸PA間を通行止め(Uターン規制)とし集中除雪
 - ・高速道路と連携し、北陸道 米山ICは閉鎖(国道への流入防止)
 - ※今回、北陸道に通行支障はなく、除雪しながら交通確保することで調整
 - ・国道8号の急勾配区間(米山台、新赤坂付近 下り)への交通流入を避けるため、日吉交差点から上越方面への通行車両を柏崎バイパスへ交通誘導
 - ・新潟県と調整し、国道252号の除雪を国交省が実施(相互除雪)
 - ・Twitterで除雪状況、規制案内等を情報発信(解除まで計5回)



位置図



2. 当面の対応の実施状況

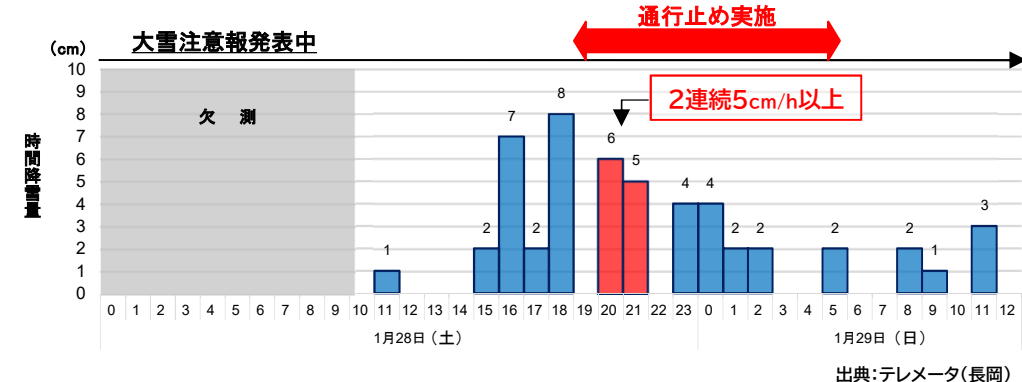
2-1. 1月寒波時の対応状況（長岡）

- 1月28日夕方から降雪が強まったことを受け、19時に同時通行止めを開始し集中除雪を実施（降雪量閾値観測前に通行止め）
- 建設業協会の協力により通行止めを実施し、流入交通量を抑制しつつ、域内交通を確保した上で集中除雪を実施
- 除雪作業を効率化し、立ち往生車の発生を防止

長岡地区の通行規制実施例(R5.1.28～29)

- [対応時系列]
- 28日 11:30 記者発表:通行止めの可能性のある区間について
 - ・28日夜から29日にかけて平地を含め大雪予報。同時通行止めの可能性
 - ・外出抑制や事業者へ日程調整のお願い
 - 28日 14:30 記者発表:夕方以降集中除雪を実施。通行止めの可能性あり
情報連絡本部:通行止め開始見込みに関する情報共有
 - 28日 16:50 情報連絡本部:通行止め開始時刻に関する情報共有
 - 28日 17:30 記者発表:通行止めを実施【予告】
 - 28日 19:00 同時通行止め開始
 - 29日 05:15 記者発表:通行止め解除【予定】
 - 29日 06:00 通行止め解除（通行止め11時間）

- [対応の詳細]
- ・国道8号 坂井北交差点～柏崎・上越市境、国道17号 堀之内除雪ST～川崎IC、国道116号 五分一駐車場～長崎交差点を通行止めにより集中除雪
 - ・高速道路と連携し、北陸道及び関越道も同時通行止め
 - ・長岡地区は、坂井北交差点、堀之内除雪STにてUターン規制を実施
川崎ICではオンランプ規制により、流入交通量を抑制
 - ・通行止めの間、Twitterで除雪状況、規制案内等を情報発信（解除まで計15回）
 - ・同時通行止め実施中、立ち往生車の発生なし



位置図

※国道8号、17号長岡地区
周辺の規制区間を例示



2-2. 情報提供・出控え広報強化

- 【Twitterによる情報発信（1/20～1/29 計142回）】

通行止め時

【令和5年1月寒波時の交通量の減少】



2. 当面の対応の実施状況

2-2. 情報提供・出控え広報強化（高速）

○強い寒波があった1月20日から29日にかけて以下のとおり、テレビ・ラジオ・インターネット・SNS・情報板等で出控え広報を実施
○12月から2月にかけて、降雪の強弱にあわせて、計10期間の注意喚起・出控え広報を実施してきた
○往来抑制のため、1月23日から26日まで、NEXCO東日本新潟支社の来客受付窓口や打ち合わせ等一部の業務を一時休止

【1月20日～29日大雪での出控え広報実績】

媒体		差し替え期間	差し替え本数
テレビCM(新潟県内の民放4局)		1/20～29	計52本
ラジオCM	FM新潟	1/20～29	14本
	新潟放送	1/20～29	12本
	新潟県内コミュニティFM 12局	1/20～29	10本×12局
インターネット広告	バナー広告(YDA・GDN)	1/20～29	4,778,369回表示
	動画広告(Youtube)	1/20～29	914,665回視聴
SAPAデジタルサイネージ		1/20～29	—
高速道路情報板		1/20～29	—
HP掲載・記者発表		1/18～29	全33報
Twitter		1/18～29	128ツイート
LINE		1/18～29	40投稿

【12月から2月にかけての注意喚起・出控え広報の実施状況】

注意喚起広報実施期間	注意喚起・出控え広報内容
12月11日～15日	「お出かけルート・日程の見直しをお願いします」
12月15日～12月20日	「不要不急の外出をお控えください」
12月21日～12月25日	「不要不急の外出をお控えください」
12月29日	「最新の気象予測、道路交通情報の確認をしてください」
1月1日～6日	「お出かけルート・日程の見直しをお願いします」
1月9日～10日	「最新の気象予測、道路交通情報の確認をしてください」
1月18日～29日	「不要不急の外出をお控えください」
2月13日～16日	「最新の気象予測、道路交通情報の確認をしてください」
2月18日～22日	「最新の気象予測、道路交通情報の確認をしてください」「安全運転を」
2月25日～28日	「最新の気象予測、道路交通情報の確認をしてください」「安全運転を」

【1月20日～29日の出控え広報例】

「新潟県内 24日～警報級の大雪 外出はお控え下さい」
「県内大雪の予報 外出は控えて！」

▲高速道路情報板での出控え広報



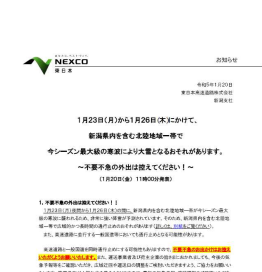
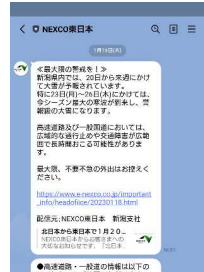
▲ラジオCMでの出控え広報

NEXCO 東日本からのお知らせです。
大雪による交通障害の恐れがあります。
不要不急の外出は控えてください。
最新の高速道路交通情報は、
NEXCO 東日本ホームページでご確認ください。
ネクスコ東日本

▲インターネット広告(GDN・YDA)



▲テレビCM・インターネット広告(Youtube)



▲SAPAデジタルサイネージ



▲HP掲載・記者発表



▲窓口休止



▲Twitter



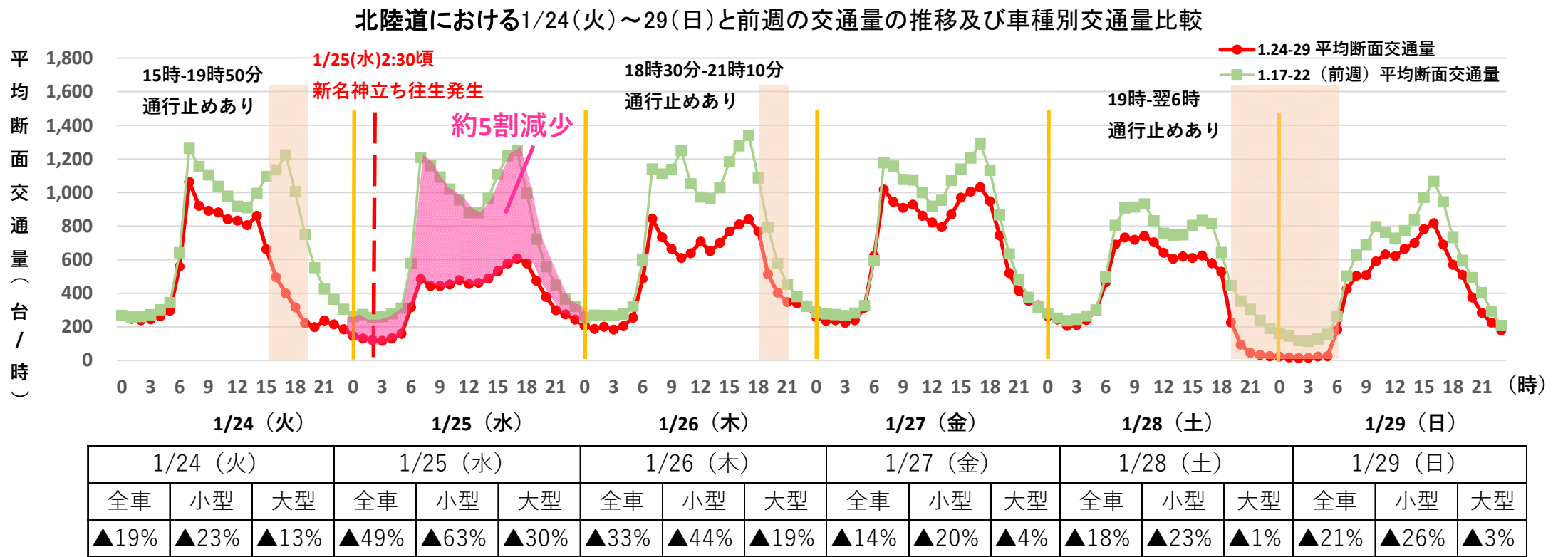
▲LINE



2. 当面の対応の実施状況

2-2. 情報提供・出控え広報強化（高速）交通動向分析

- 北陸道では、全車平均で3割程度の交通量が減少。
- 交通量減少が大きい道路は、1/25(水)の北陸道。前週と比較し、全車平均で約5割程度の交通量が減少。
- 全体傾向として大型車よりも小型車の方が、交通量減少率は大きく、平均で1～3割程度減少。
一方、大型車では、平均で約1割程度の減少に留まり、路線によっては交通量が増加。



関越道平均			上信越道平均			日東道平均			磐越道平均			北陸道平均		
全車	小型	大型	全車	小型	大型	全車	小型	大型	全車	小型	大型	全車	小型	大型
▲18%	▲30%	+3%	▲20%	▲33%	+1%	▲19%	▲20%	▲14%	▲10%	▲11%	▲6%	▲26%	▲33%	▲12%

2. 当面の対応の実施状況

2-3. 巡回強化や実勢速度低減策の実施①（高速）

～簡易LED表示内容による速度低減効果～

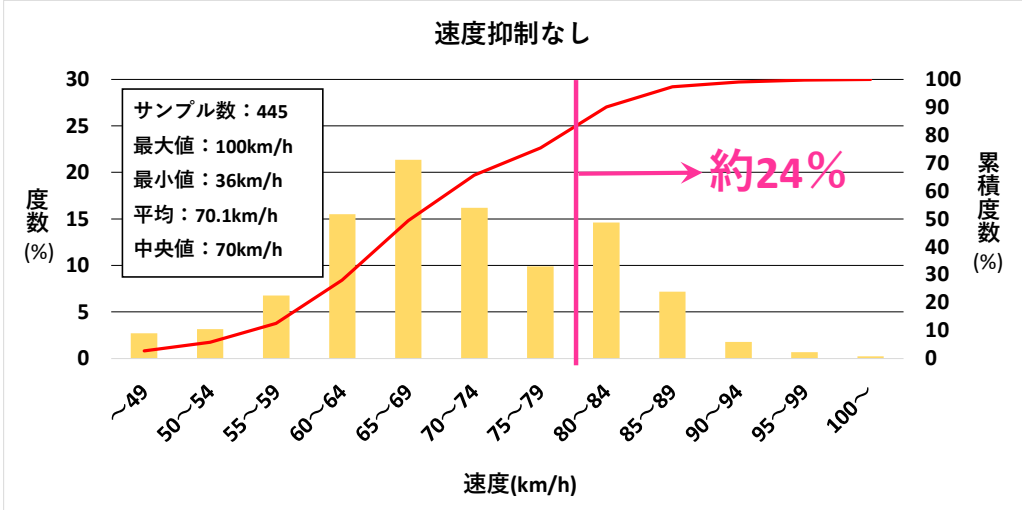
- 事故多発を踏まえ、クリスマス寒波(12/23～)前より、簡易LEDによる速度抑制対策を実施。
- 直接的な表現である“速度低減表示(速度落とせ等)により、80km/h以上で走行する車両割合が減少。※
- 通勤時間帯での道路巡回車による巡回を強化

※(路面状況や交通状況に応じ変化するため継続分析は必要)

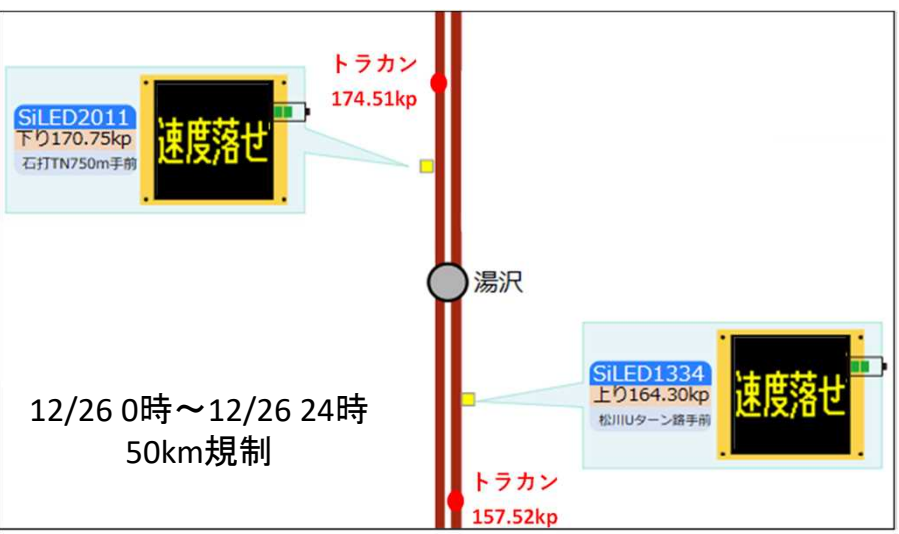
○路面状況(「路面積雪 走行注意」)注意喚起時



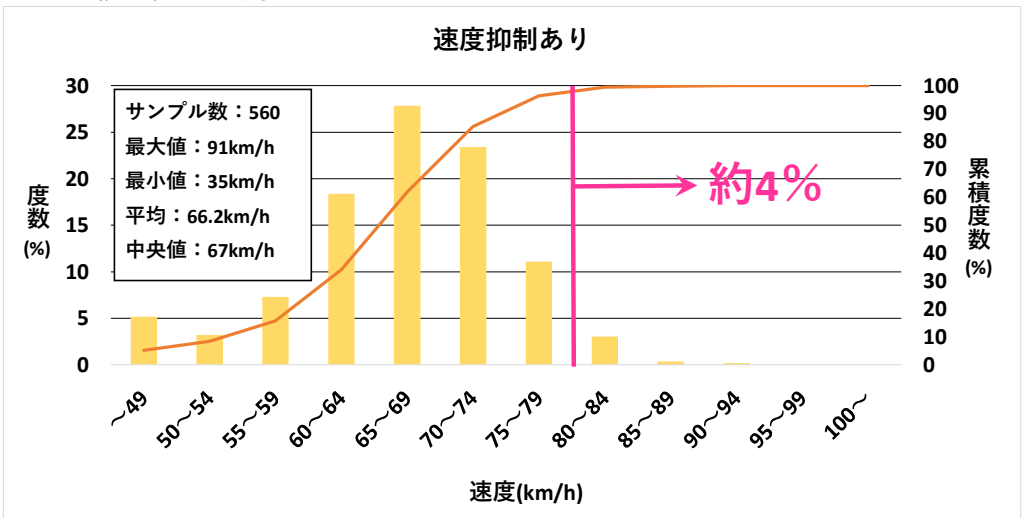
累計積雪深は、約13cm



○速度抑制(「速度落せ」)注意喚起時



累計積雪深は、約31cm



2. 当面の対応の実施状況

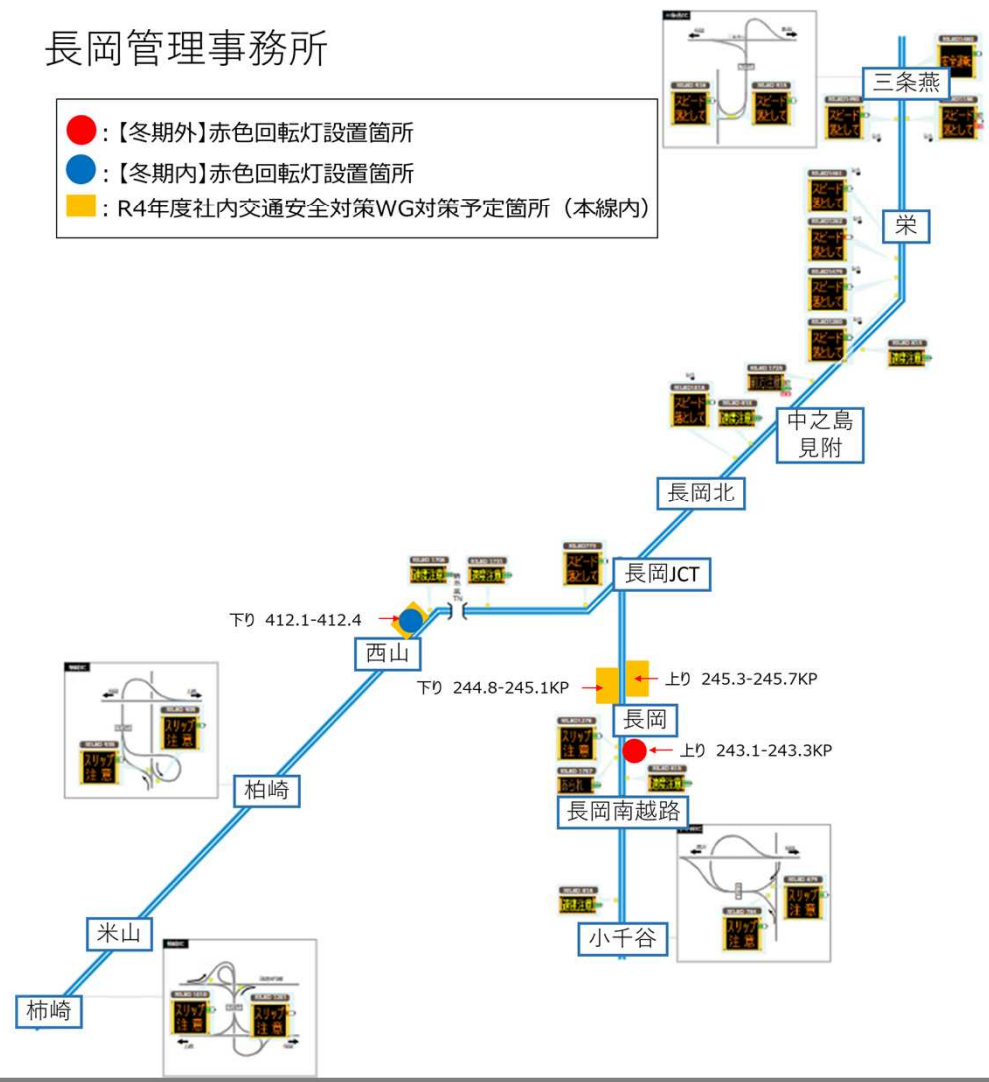
2-3. 巡回強化や実勢速度低減策の実施②（高速）

- 事故発生及び重大事故抑制には、速度低減が不可欠であり、対策により事故通行止めリスクの低減を目指す。
 - 簡易LED標識は、1～2IC間に1箇所程度、設置済である。引き続き、速度低減表示（速度落とせ“等”）を実施し、実勢速度低減による事故発生の抑制を図る。
- また、トラフィックカウンター等による速度状況の分析や、冬季事故多発箇所等を洗い出し、赤色回転灯による速度低減策等を追加実施予定。

次年度以降に向けた対策

長岡管理事務所

- ：【冬期外】赤色回転灯設置箇所
- ：【冬期内】赤色回転灯設置箇所
- ：R4年度社内交通安全対策WG対策予定箇所（本線内）



赤色回転灯イメージ

※高速上に赤色灯を設置する可否について高速隊と協議済

3. 各自治体等の対応状況 -自治体ヒアリング結果-

- 12月18日からの大雪では、長岡・柏崎全域で強い降雪による渋滞が発生し、除雪作業に支障が発生
- 1月寒波時は各機関において、除雪、巡回体制の強化や通行止めによる集中除雪により除雪障害の発生を防止

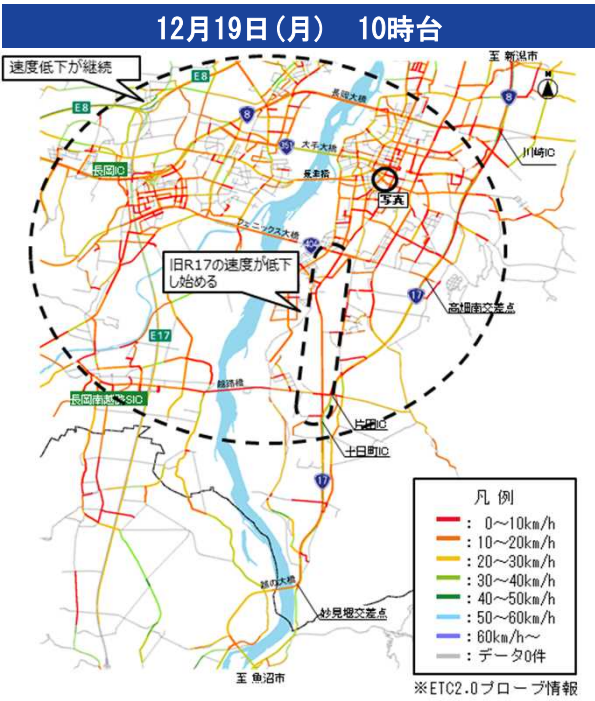
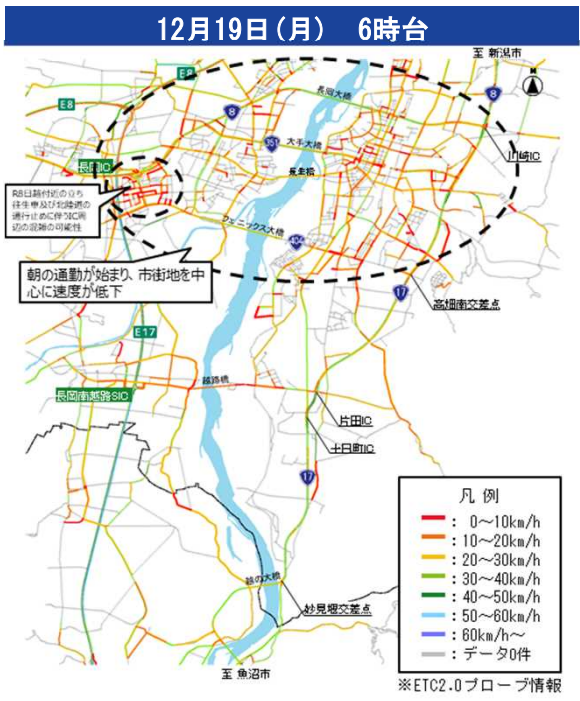
[ヒアリング対象自治体:7団体]

- 新潟県(長岡地域整備部、小千谷維持管理事務所、柏崎地域整備部)
- 長岡市、柏崎市、見附市、小千谷市

1. R4年12月大雪時の関係機関の課題、対応状況

- 課題**・強い降雪により渋滞が発生し、除雪作業に支障(6団体)
- ・消雪パイプ動作不良(能力を超える降雪、停電など)の発生(5団体)
- ・立ち往生車両、倒木、冠水による管理道路での通行障害など(5団体)
- 対応**・管理道路における集中除雪の実施(1団体)
- ・除雪体制の強化(2団体)

- ・ 短期間集中降雪により、エリア全域において渋滞が発生
- ・ 各所で立ち往生車両、倒木、冠水等による通行障害が発生



3. 各自治体等の対応状況 -自治体ヒアリング結果-

- 同時通行止めについては、除雪作業の効率化や事前の通行止めによる問合せの減少等の意見があった
- 各自治体において、SNSや独自ツールを用いて情報発信を実施

2. R5年1月からの主な対応(改善点)

- ・除雪、巡回体制の強化(夜間作業、除雪回数の増等)(6団体)
- ・通行止めによる集中除雪実施(2団体)
- ・消雪パイプ整備済路線における除雪実施(2団体)

3. 1月寒波以降の取り組みについての意見

(1) 情報共有に対する評価

- ・冬期道路情報共有サイトの情報を市民への広報、除雪業者への指示に活用(3団体)
- ・冬期道路情報共有サイトは非常に役立っており、引き続きこまめな情報共有をお願いしたい(1団体)

(2) 同時通行止めの評価

- ・出控えにより交通量が減少し、市内の除雪作業が効率化(1団体)
- ・事前の広報や、情報連絡本部で共有された情報を市民に提供したことで、市への問い合わせは少なかった。しっかり情報提供することが重要であり、引き続き情報共有して欲しい(1団体)

(3) 同時通行止め時における課題

- ・国道通行止め時に県・市管理道路への流入しない措置が必要(2団体)
- ・高速道路と直轄国道を結ぶアクセス路線(国道252号など)の相互除雪について更なる検討(1団体)
- ・情報連絡本部で、集中除雪の作業進捗状況が共有されると良い(1団体)

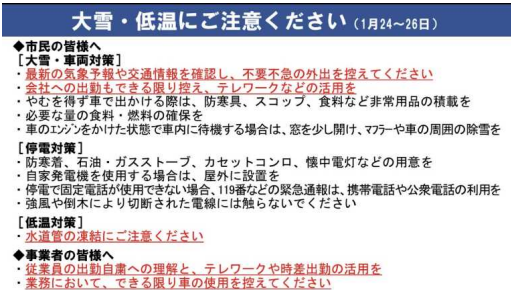
4. 各自治体の情報発信方法

- ・HP、Twitter、Facebook、LINEなど(7団体)
- ・上記以外の独自ツール(防災無線、防災メールなど)(3団体)

【見附市HP】



【長岡市LINE】



- ・ R5年1月寒波では、R4年12月大雪の事象を踏まえた対応により、大規模滞留の発生を抑制
- ・ 今後、各道路管理者における除雪の協力体制確保や自治体を通じた出控え広報等を実施する行動計画について検討・立案

4. 次年度以降に向けた対応

対応(案)の詳細は、次ページ以降に詳述

今後の対応について、対応の方向性をふまえ、具体の対応を検討

【対応の方向性】	【原因・課題】	【今後の対応(案)】
(1) 渋滞・車両滞留の発生 (1/2)		
○除雪能力を大幅に超える降雪への対応 【国道・高速】 - 効果的な広域迂回に関する情報提供手法の検討 【国道】 - 除雪体制・監視体制の強化(除雪機械増強、立ち往生・事故多発箇所における消融雪施設整備、滞留車待避スペースの確保、CC TV等のカメラ増設による速やかな路面状況の把握) ※ 1月寒波の対応結果もふまえた追加事項 - 迅速な予防的通行止めと早期の通行止め解除の実施	・域外交通の流入により、交通障害リスク増加、除雪の支障 【柏崎地区】 - 予測を上回る降雪により、急勾配区間で路面状況が悪化、立ち往生車両が頻発 - 路肩幅員が狭小な海岸部の橋梁区間で、堆雪により路肩幅員が狭隘化、大型車のすれ違い困難により滞留発生 - 除雪の遅れにより、R8柏崎バイパスへの車両誘導に支障 柏崎市街地の渋滞・滞留を誘発 【長岡地区】 - 従道路側の渋滞により、本線に車両が滞留し除雪に支障 - R17高畑南交差点では、除雪の遅れにより路面状況が悪化し、交差点前後の縦断勾配3%区間で立ち往生車両が頻発 - 除雪工区の工区境(R17越の大橋付近)で、車両単独事故による交通障害、予測を上回る降雪による除雪の遅れから、路面状況が悪化し渋滞・滞留が発生 【柏崎・長岡地区】 - 集中除雪区間内の本線上で待機する車両により、早期の集中除雪完了に支障、規制解除に遅れ - 滞留車両により、早期の集中除雪完了に支障 - 通行止め区間の起終点でスムーズなUターンができない車両 - 通行止めの規制要員の待機、休憩場所が確保できず、事前待機、規制の長時間化への対応に課題	・5機関共同会見(北陸地方整備局、気象庁、NEXCO(東日本・中日本)、北陸信越運輸局)により、事前の情報提供、出控え要請 【柏崎地区】 - 急勾配区間等に消融雪施設を検討・設置 - 除雪機械の増強(除雪ドーザ)、大雪予測時の除雪機械事前配置(ロータリ除雪車)により、路肩幅員狭小区間を集中除雪 - R8柏崎バイパスの交通確保を最優先し、市街地部での滞留発生を抑制するため、堆雪処理に時間を要する柏崎高架橋区間に消雪パイプを設置 - 迅速な除雪作業に向けた体制強化 - CCTVカメラを増設、監視体制強化 【長岡地区】 - R17高畑南交差点前後に、消雪パイプを設置 - 除雪工区境のR17越の大橋付近を、長岡工区、堀之内工区の両工区が重複して除雪、除雪頻度を増やす。 - 迅速な除雪作業に向けた体制強化 - CCTVカメラを増設、監視体制強化 【柏崎・長岡地区】 - 除雪支障車両の待避スペースを本線脇に確保(非常駐車帯の拡大等) - 滞留車両の本線Uターン可能箇所の確保(中央分離帯の開口部設置、非常駐車帯の利用等) - 通行止め規制箇所に職員や規制要員の待機・休憩施設、仮設トイレ設置 【その他】 - 駐車場(待避スペース)整備や遠隔操作による通行止め装置導入等、迅速な予防的通行止めに資する施設の整備

4. 次年度以降に向けた対応

対応(案)の詳細は、次ページ以降に詳述

今後の対応について、対応の方向性をふまえ、具体の対応を検討

【対応の方向性】	【原因・課題】	【今後の対応(案)】
(1) 渋滞・車両滞留の発生 (2/2)		
○除雪能力を大幅に超える降雪への対応 【高速】 ・気象予測精度向上による雪氷体制検討 ・交通障害の早期解消 ○渋滞・車両滞留状況の把握 【国道】 ・CCTVの増設 ※ 1月寒波の対応結果もふまえた追加事項 ○更なる対応力の向上に向けた取り組み 【国道】 ・降雪量閾値付近の降雪データの補完 ・路面状況や立ち往生車両の早期発見のため、状況把握を強化	・JPCZに対する気象予測と実績の乖離 ・安全面をより重視した慎重な解除判断が必要 ・車線幅員確保のための拡幅除雪(ロータリー除雪)の長時間化 【柏崎・長岡地区】 ・渋滞発生後、現地にたどり着くことが困難となり、路面状況、渋滞状況の把握が遅れ、滞留等の交通障害が長期化 【柏崎・長岡地区】 ・閾値未満でも、寒波の際は近似する時間降雪量の観測頻度が多い。 ・CCTVカメラの通常画角では、把握できない区間が存在	・JPCZに対する気象予測の継続検討 ・大雪予測時、集中降雪時及び通行止め時の1. 5車線(1車線+緊急車両通行帯)等の柔軟な交通運用を実施するための目安の明確化(継続実施中) ・通行止め時においても緊急避難路として高速道路を活用する場合の運用オペレーションを確立 ・上振れした降雪時における応援体制の強化 ・ICへのアクセス道路の除雪対応の明確化・緊密な連携 【柏崎・長岡地区】 ・CCTVカメラを増設、監視体制強化(再掲) ・従道路側の状況を早期に確認・共有し、従道路管理者への除雪の要請や自治体を通じた出控え広報を実施する行動計画を立案。実行力を備えるため来冬に向けて訓練を実施 【柏崎・長岡地区】 ・降雪量データの補完を目的に、簡易レーザー式積雪深計を5箇所試行設置(R5.2月)、閾値付近の降雪量となる場合には、簡易レーザー式積雪深計のリアルタイムデータから面的に降雪状況を把握 ・路面状況や立ち往生早期発見のため、立ち往生発生箇所に簡易カメラ(インターバル式)を6箇所試行設置(R5.2月)、状況把握を強化 ・来冬は簡易レーザー式積雪深計、簡易カメラともに箇所を増設し運用

4-1. 渋滞・車両滞留発生への対応（国道）

- 比較的勾配が緩やかな柏崎バイパスの交通確保を最優先し、市街地部での大規模滞留を抑制
- 以下に示す①～⑥のハード・ソフト対策を実施し、対応力を強化

【柏崎地区の対策（案）】

- ① 場所：国道8号 95kp付近～100kp付近 よねやまだい おうみがわ 米山台～青海川付近
原因：4%を超える勾配区間が多数あり立ち往生車両が頻発
対策：取水が難しい区間であるが、**消融雪施設を検討・設置**

② 場所：国道8号 97kp付近 くじらなみ 鯨波付近
原因：上り・下り勾配が複合しており、車両停発進により路面状態が悪化、立ち往生に発展（上下線）
対策：**CCTVカメラを増設し監視体制強化**
本線の路面状況、滞留状況を早期に確認

- ④ 場所：国道252号
原因：除雪の遅れにより、柏崎バイパスへの車両誘導に支障
対策：CCTVカメラを増設し監視体制強化
日吉町交差点にカメラを設置、R252の除雪状況を確認
必要に応じて相互除雪を実施

- 迅速な予防的通行止めの実施体制確保**
対策：通行止め実施箇所における規制要員の
待機・休憩施設の設置（仮設）

- 早期通行止め解除に向けた対策**
原因：除雪支障車両により、早期の集中除雪完了に支障、規制解除に遅れが生じる
対策：除雪支障車両の待避スペース、
本線Ｕターン可能箇所、
迅速な除雪作業に向けた体制強化

- ⑤ 場所: 国道8号 柏崎BP 92kp 柏崎高架橋
原因: 高架橋は投雪が出来ず、現供用形態では
路肩が狭いため、堆雪処理に時間を要する
幅員狭隘化、路面積雪により通行障害が発生
対策: 消雪パイプを検討・設置

- 場所:国道8号 105kp ^{よなひめ}胞姫橋～^{あけね}上輪橋付近
原因:橋梁上は投雪が不可。路肩も狭く大雪時は幅員確保が難航
大型車すれ違い困難により滞留が発生
対策:海岸部の大雪予測時は、事前に新赤坂除雪STに除雪機械
(ロータリ除雪車、除雪ドーザ)を配置し、橋梁とその前後を
集中除雪することで交通確保



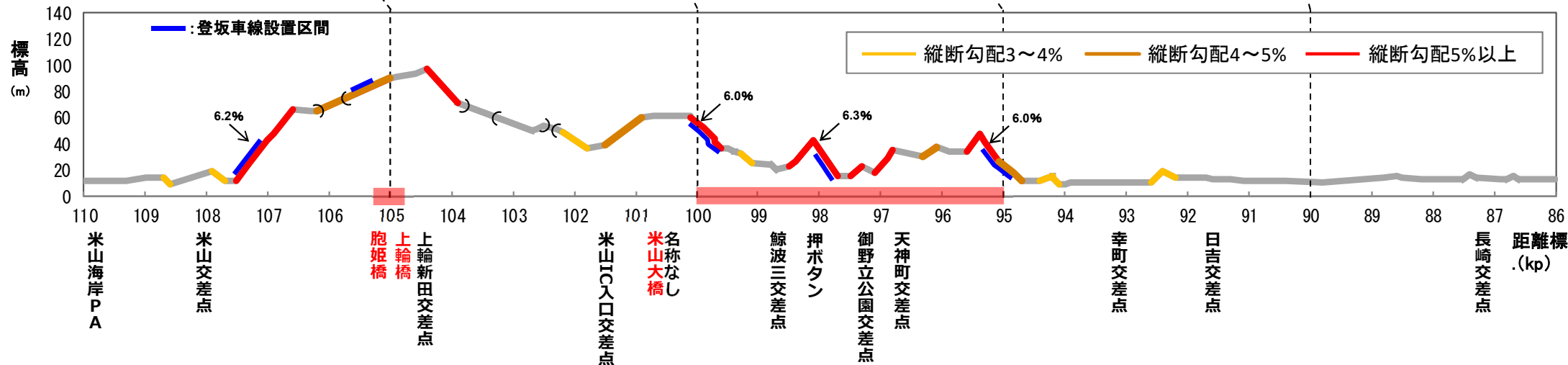
加納
路肩の堆雪により
幅員狭隘化
すれ違い困難

○ : CCTV

4-1. 渋滞・車両滞留発生への対応（国道）



鯨波（97kp）付近に CCTV増設



4. 次年度以降に向けた対応

4-1. 渋滞・車両滞留発生への対応（国道）

- 12月の立ち往生車両発生の原因を分析のうえ、以下に示す①～⑦のハード・ソフト対策（案）を実施
- 従道路の道路管理者や隣接除雪工区とも連携し、対応力を強化

【長岡地区の対策（案）】

- ①

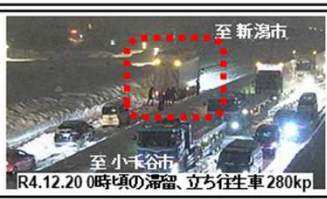
場所：国道8号 56kp ^{ふくしま} 福島交差点付近
原因：従道路への右左折待ちにより国道本線に車両が滞留、除雪に支障
対策：CCTVカメラを増設し監視体制強化
⇒ 滞留状況、路面状況を早期確認・共有
従道路管理者への除雪要請、自治体を通じた出控え広報の実施


- ②

場所：国道17号 282kp ^{ながくら} 長倉IC付近
原因：従道路の渋滞によりオフランプの滞留が本線まで影響し除雪に支障
対策：CCTVカメラを増設し監視体制強化
⇒ 滞留状況、路面状況を早期確認・共有
従道路管理者への除雪要請、自治体を通じた出控え広報の実施


- ③

場所：国道17号 280kp ^{たかほたけみなみ} 高畑南交差点付近
原因：従道路側の渋滞により国道本線に車両が滞留し国道の除雪に支障
高畑南交差点前後の縦断勾配3%区間で立ち往生車両が多数発生
対策：本線に消雪パイプを設置
⇒ 立ち往生発生を予防（従道路とも除雪連携）


- ④

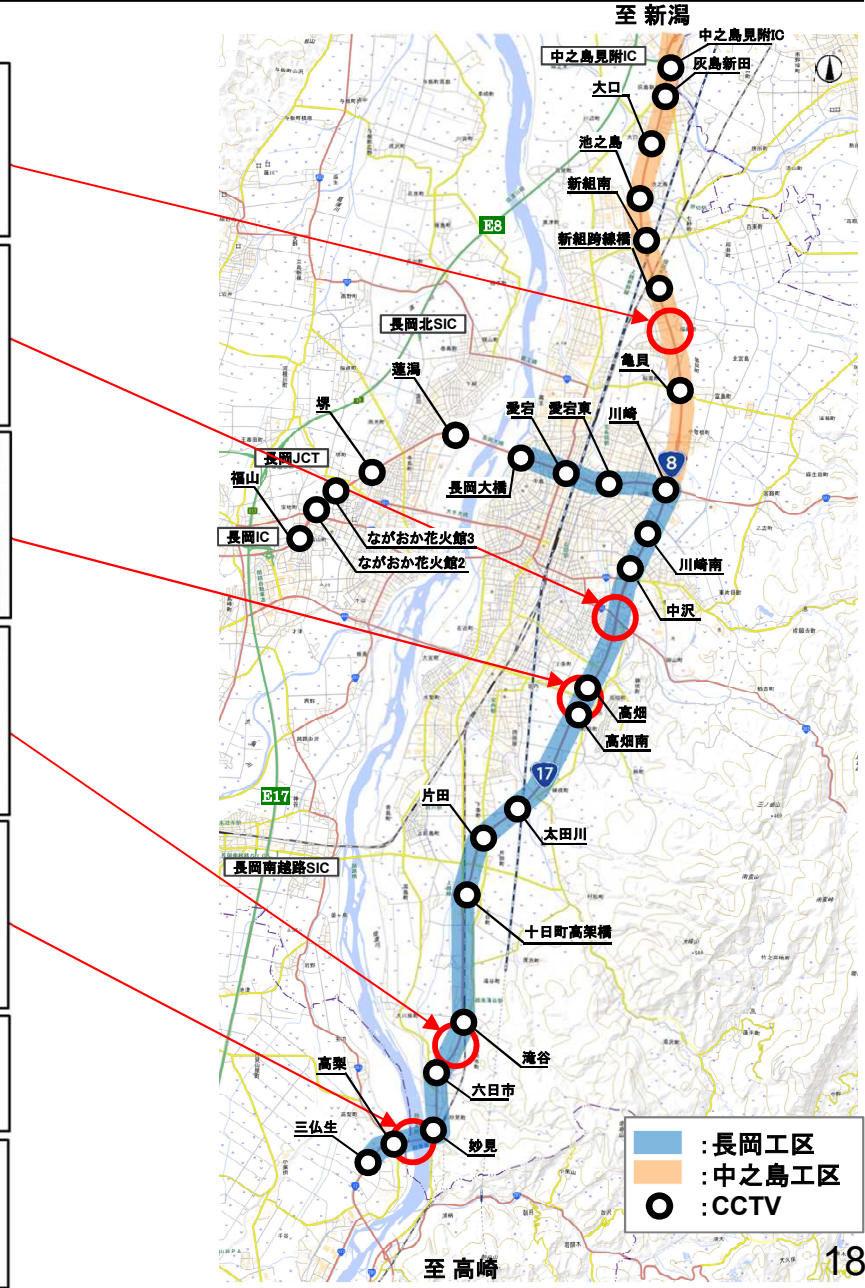
場所：国道17号 273kp ^{むいかいちまち} 六日市町付近
原因：工区端付近のため、除雪車の現場到着に時間を要し、
路面状況、交通障害発生等の把握に支障
対策：CCTVカメラを増設し監視体制強化
⇒ 本線の路面状況、滞留状況を早期に確認


- ⑤

場所：国道17号 271kp ^{こしのおかし} 越の大橋付近（隣接工区応援除雪を効率化）
原因：長岡工区と堀之内工区の工区境で、大雪時は除雪車の現場到着に時間を要する。
対策：両工区で重複して除雪（堀之内工区が除雪区間を長岡側に延伸）
堀之内工区の除雪梯団が転回するための回転場を設置
（植栽帯撤去による除雪待避スペース設置）
- ⑥

長岡工区梯団除雪の分離（従前からのオペレーション再徹底）
原因：長岡工区は通常4～6台梯団1班で除雪を行っているが、降雪強度によっては除雪に遅れが生じる
対策：降雪状況等に応じて梯団を2班に分離し、必要な走行車線（上下線）を早期に確保する。
- ⑦

迅速な予防的通行止めの実施体制確保、早期の通行止め解除に向けた対策
原因：除雪支障車両により、早期の集中除雪完了に支障、規制解除に遅れが生じる
対策：通行止め実施箇所における規制要員の待機・休憩施設の設置（仮設）
除雪支障車両の待避スペース、本線Uターン可能箇所、迅速な除雪作業に向けた体制強化



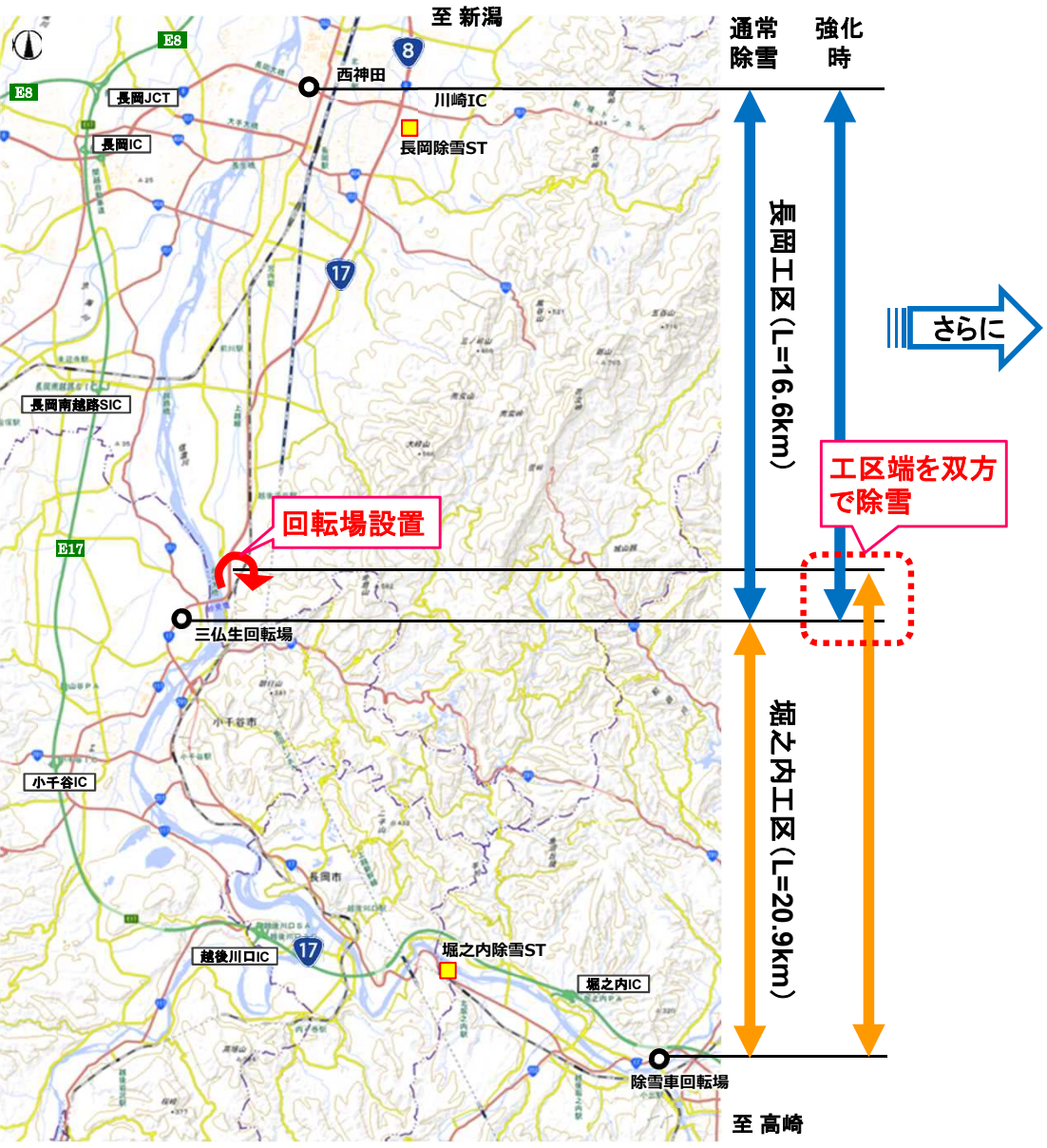
4. 次年度以降に向けた対応

4-1. 渋滞・車両滞留発生への対応（国道）

- ⑤

場所：国道17号 271kp 越の大橋付近

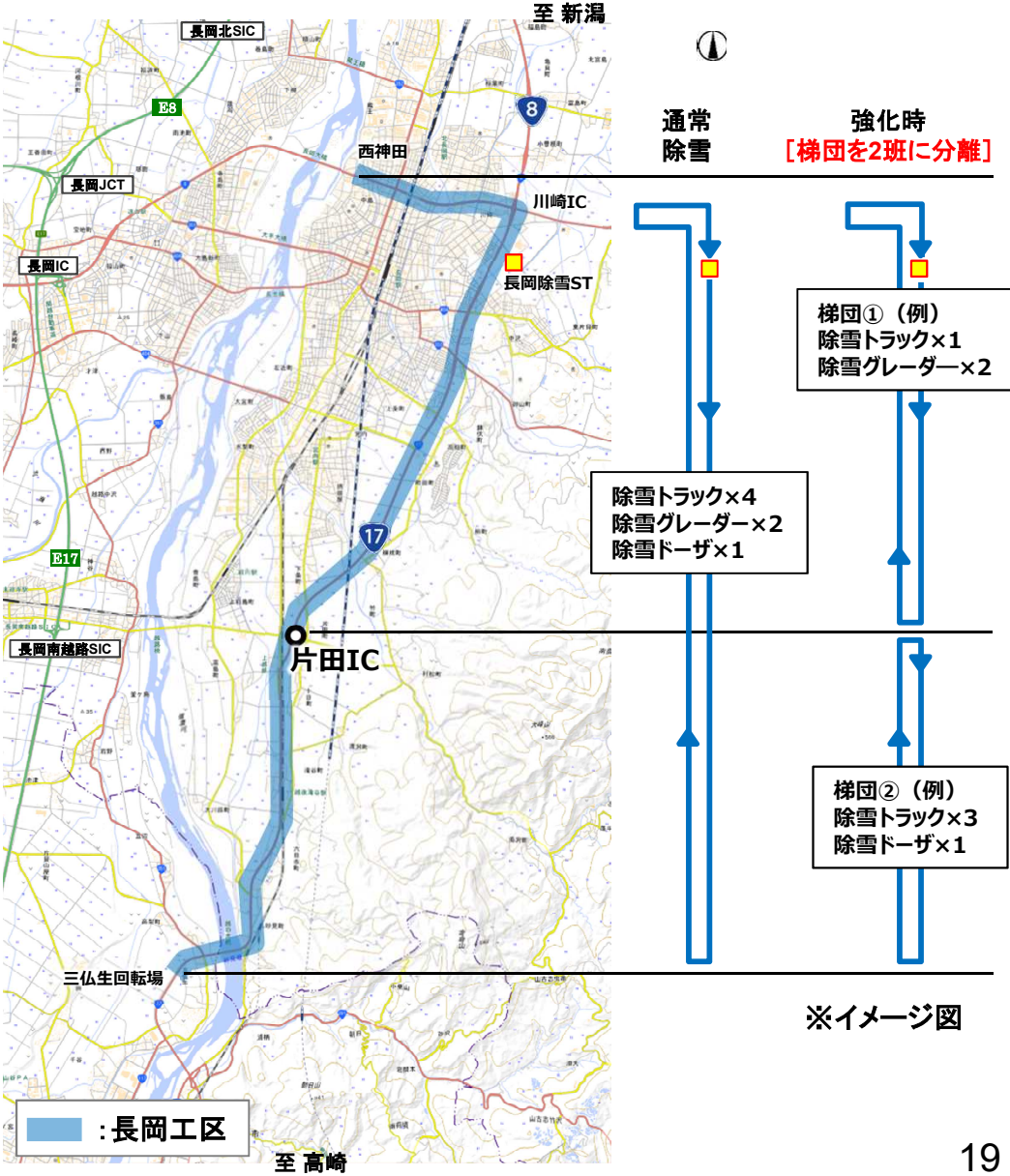
対策：**両工区で重複して除雪**（堀之内工区が除雪区間を長岡側に延伸）
堀之内工区の除雪梯団が転回するための**回転場を設置**
（植栽帯撤去による除雪待避スペース設置）



- ⑥

長岡工区梯団除雪の分離

対策：降雪状況に応じて**梯団を2班に分離し、サイクルタイムを短縮**
必要な走行車線(上下線)を早期に確保する。
分離する箇所は、降雪状況等を見て臨機応変に対応



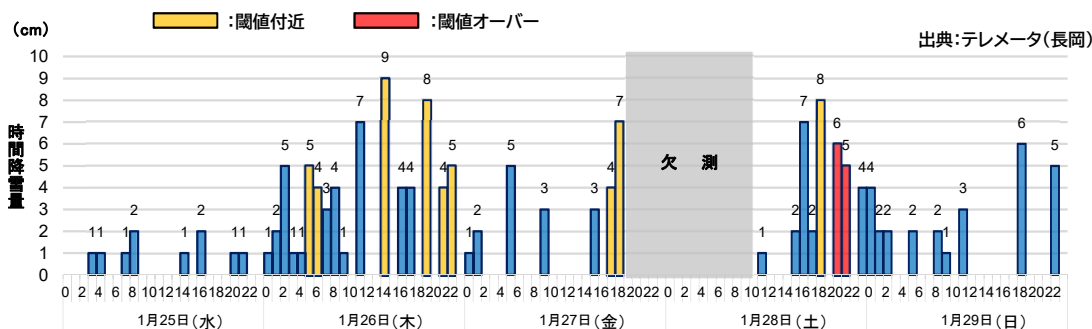
4-1. 渋滞・車両滞留発生への対応（国道）

(1) 降雪量閾値（代表観測所）のデータ補完等による対応力向上

- 閾値未満でも近似する時間降雪量の観測頻度が多いため、データ補完を目的に簡易レーザー式積雪深計を5箇所試行設置（R5.2月）
- 閾値付近の降雪量となる場合には、簡易レーザー式積雪深計のリアルタイムデータから面的に降雪状況を把握、対応力向上を図る。
- また、路面状況や立ち往生早期発見のため、簡易カメラ（インターバル式）を6箇所試行設置（R5.2月）、状況把握を強化

【長岡地区の降雪推移】

・R5.1月寒波時も、閾値付近の降雪が複数発生

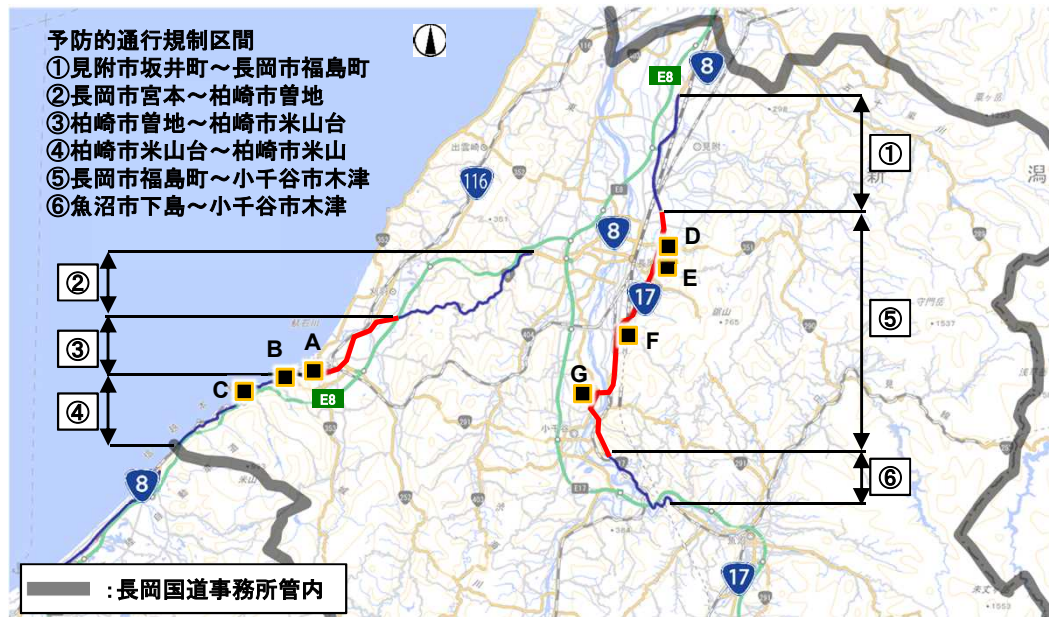


【簡易積雪深計・簡易カメラの設置状況】

簡易積雪深計(レーザ一式) R17川崎南(上)



設置状況



路線	設置箇所	簡易 積雪深計	簡易カメラ
R8	A:米山台(下)	○	○
	B:鯨波(下)	-	○
	C:米山大橋	-	○
R17	D:川崎(上)	○	-
	E:川崎南(上)	○	○
	F:片田(上)	○	○
	G:三仏生(上)	○	○

4. 次年度以降に向けた対応

4-1. 渋滞・車両滞留発生への対応（国道）

(2) 通行規制要員の確保

- 大雪時にはTEC-FORCE等の応援要員に加え、建設業協会や建設コンサルタント協会に協力を要請
- 1月寒波時には、建設業協会から交通規制要員として延べ68人の応援
- 通行止めの事前待機、規制長期化に対応するため、通行止め規制箇所に職員や規制要員の待機・休憩施設、仮設トイレを設置

【協会への応援要請実績】

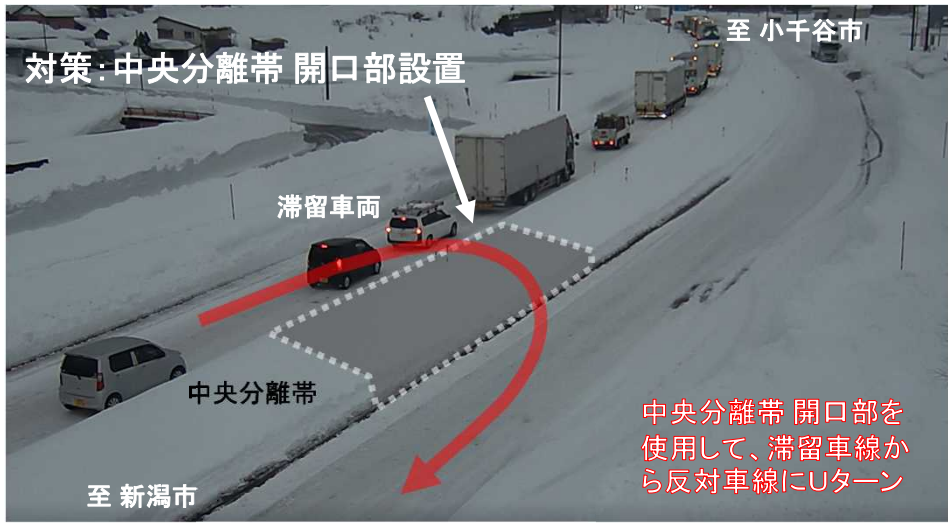
支部名	期間	派遣人数	要請内容	派遣先
(一社)新潟県建設業協会 三条支部	1/24～1/29	23人	交通規制	国道8号坂井北交差点
(一社)新潟県建設業協会 長岡支部	1/24～1/29	38人	交通規制	国道8号川崎IC、宮本除雪ST
(一社)新潟県建設業協会 与板支部	2/20～2/21	3人	交通規制	待機のみ
(一社)新潟県建設業協会 六日町支部	2/20～2/21	4人	交通規制	待機のみ

【コンテナ型 待機・休憩施設（例）】



(3) 迅速な予防的通行止めと早期の通行止め解除の実施

- 本線滞留車両により、早期の集中除雪完了に支障
- 早期に集中除雪を完了させるため、滞留車両を速やかに本線から流出させることを目的に、中央分離帯開口部を必要箇所に整備



【参考】
人力で脱着可能な中央分離帯開口部用ガードレール「レーンオープナー」(NEXCO中日本)



写真-1 レーンオープナー（左:全景 右:1ブロック）

4. 次年度以降に向けた対応

4-1. 渋滞・車両滞留発生への対応（高速）

- 高速道路は閉鎖された空間であり、除雪作業においては、中央分離帯・路肩に積み上がった雪を高速道路外に排雪する方法に限定。
特に一般道・鉄道・河川との交差部等、投雪ができない箇所では天候回復後にダンプ排雪作業を行い、車道幅員を確保(③作業)することが必要。
- 短時間集中降雪時では、梯団除雪だけでは②の状態となりロータリー除雪車による車線拡幅作業が必要となる。
車線拡幅作業は、5km/h程度となるため、車道幅員を確保するために時間を要する。
- 降雪状況や通行止め状況等を踏まえ、②-1作業で1.5車線(1車線+緊急車両通行帯)を確保し、走行安全性を確認(緊密な警察協議)したうえで、通行止めの解除を目指す。(継続実施中)
- 交通状況や路面状況を常時把握するためにWebカメラの増設を行っていく(新潟支社管内で約250台設置 約2kmで1台程度の頻度)

①除雪作業前



②梯団除雪では車線幅員が確保出来ない状態



※短時間集中降雪の場合は、梯団除雪を繰り返しても車線幅員は確保できない場合がある。

③ダンプ排雪作業状況



※通行止め解除後のダンプ運搬排雪作業

WEBカメラの更なる増設（現在 約250台）



②-1 ロータリー除雪車による拡幅作業を行い1.5車線（1車線+緊急車両通行帯）を確保し通行止め解除を目指す



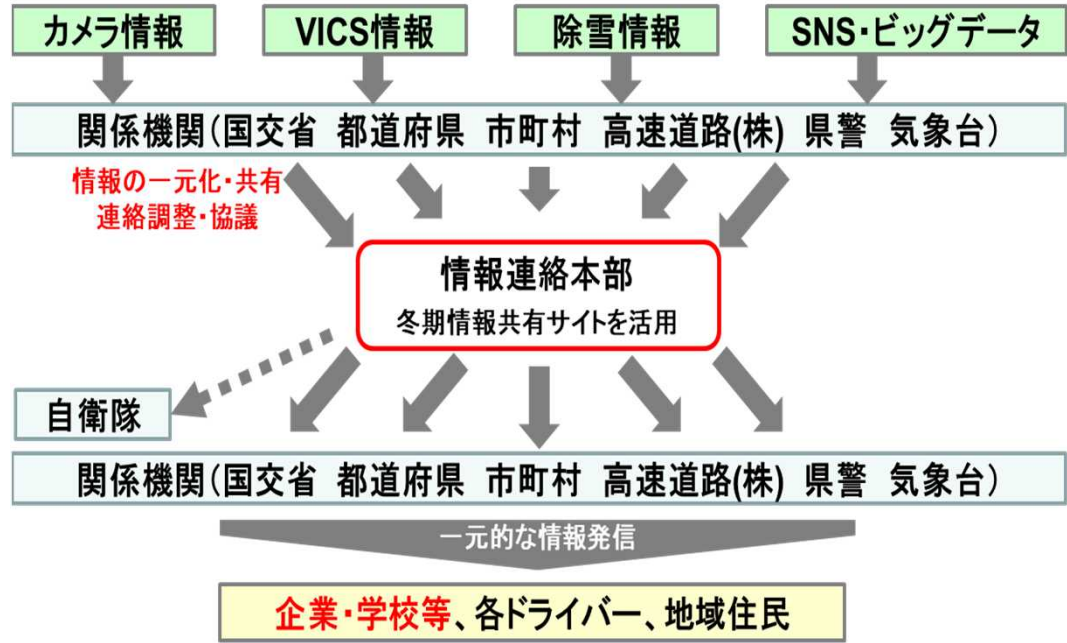
4. 次年度以降に向けた対応

4-2. 広報・情報提供のあり方

- 1月寒波時には、早期に情報連絡本部を設置し冬期情報共有サイトを活用しつつ各種情報を集約
- 集約した情報を各機関から早期に情報発信したことで交通量も抑制
- 今後、SNS情報や交通ビッグデータ等の活用を検討しつつ、引き続き情報連絡本部で一元化した情報を早期に発信

各種情報提供及び出控え広報の強化	【対応の方向性】	【対応策(案)】
	※次年度以降対応事項のみ抜粋	
	○各種情報提供及び出控え広報の強化	
	＜事前準備＞ ・企業、学校等に向けた広報、情報提供の手法検討 ・ライブカメラのサーバー強化 ・CCTVの増設(再掲) ・CCTVや現地調査人員以外の情報収集方法の検討 ＜事象発生時:立ち往生車発生＞ ・広報媒体の特性を踏まえた行動変容を関係自治体と連携して実施(防災無線・エリアメール等)	＜事前準備＞ ・企業については記者発表による広報、学校については自治体へ休校の申入を検討 ・ライブカメラサーバーの強化を実施 ・CCTV増設、簡易カメラの設置(4-1.参照) ・SNS発信情報、交通ビッグデータの活用を検討 ＜事象発生時:立ち往生車発生＞ ・情報連絡本部で一元化した情報を、各機関からあらゆるツールを使って発信(防災無線、緊急情報メール、FMラジオ、SNS等)

【情報連絡本部の情報発信】



【自治体による広報活動】

- ・見附市HP(抜粋)

大雪に関する情報

冬型の気圧配置や、寒気の流れ込みにより、大雪や凍結が考えられます。見附市内でも大雪、凍結のおそれがありますので、市民の皆様には次のこと。なお、気象状況等は最新の情報をご確認ください。(新潟地方気象台 四)

見附市内小中特別支援学校の休校情報

積雪状況により臨時休業になる場合があります。

事業所の皆様へお願い

大雪が見込まれる場合には、次のことにご協力をお願いします。

- 従業員のテレワークや時差出勤をご検討ください
- 業務において、出来る限り車の使用を控えてください

- ・長岡市LINE

大雪・低温にご注意ください (1月24〜26日)

◆市民の皆様へ

【大雪・車両対策】

- ・最新の気象予報や交通情報を確認し、不要不急の外出を控えてください
- ・会社への出勤もできる限り控え、テレワークなどの活用を
- ・やむを得ず車で出かける際は、防寒具、スコップ、食料など非常用品の積載を
- ・必要な量の食料・燃料の確保を
- ・車のエンジンかけた状態で車内に待機する場合は、窓を少し開け、マフラーや車の周囲の除雪を

【停電対策】

- ・防寒着、石油・ガストープ、カセットコンロ、懐中電灯などの用意を
- ・自家発電機を使用する場合は、屋外に設置を
- ・停電で固定電話が使用できない場合、119番などの緊急通報は、携帯電話や公衆電話の利用を
- ・強風や倒木により切断された電線には触らないでください

【低温対策】

- ・水道管の凍結にご注意ください

◆事業者の皆様へ

- ・従業員の出勤自粛への理解と、テレワークや時差出勤の活用を
- ・業務において、できる限り車の使用を控えてください

【運輸業界の対応状況】

ヤマト運輸 @yamato_19191129

1月24日13時時点 #ヤマト運輸 #最強寒波 #拡散希望RT協力お願いします 【お荷物のお預かり停止】について

非常に強い寒気の影響に伴う安全確保の観点から、下記の地域のお預かりを一時的に停止しております。

■対象地域

・全国 ⇄ 新潟県、富山県、石川県、福井県

詳細

yamato-hd.co.jp/important/info...

午後2:34・2023年1月24日・103.7万件の表示

8,638 件のリツイート 254 件の引用ツイート 5,796 件のいいね

ヤマト運輸 大雪に伴う営業状況をHP等から発信

お荷物の集配および宅急便センターの営業状況について

ただいま、下記地域でのお荷物についてお預けに遅れが生じております(営業所へのお引取りを含む)。大雪に配慮をお願いしますが、ご了承くださいませ(ようしお願いいたします)。

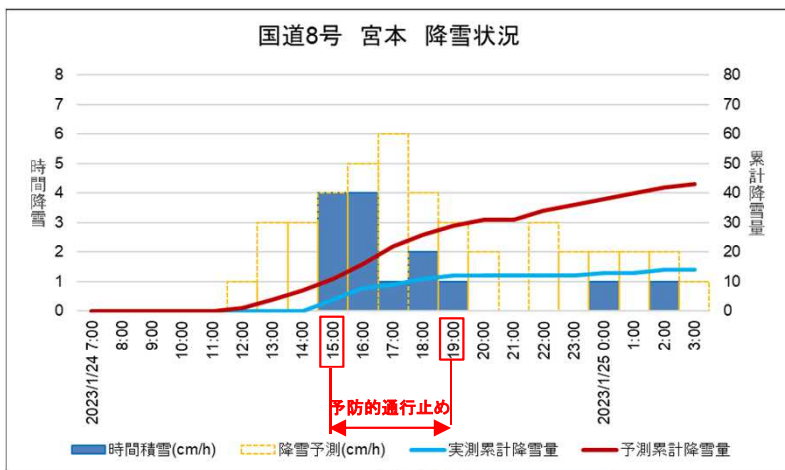
◆全国から下記地域へのお荷物について、受け取りを停止しております

都道府県	地域詳細	対象商品	理由	備考
埼玉県	秩父市(中津川)	全商品	土砂災害	土砂崩れにより県道が通行止めとなっていることから当該地域のお荷物の受け取りを停止しております。
新潟県	新潟県内→全県行き 全県内→新潟県行き	全商品	大雪	大雪の予報により各県道沿線の計画的な通行止めが予想されることから、お荷物のお預かりを停止しております。
富山県	富山県内→全県行き 全県内→富山県行き	全商品	大雪	大雪の予報により各県道沿線の計画的な通行止めが予想されることから、お荷物のお預かりを停止しております。
石川県	石川県内→全県行き 全県内→石川県行き	全商品	大雪	大雪の予報により各県道沿線の計画的な通行止めが予想されることから、お荷物のお預かりを停止しております。
福井県	福井県内→全県行き 全県内→福井県行き	全商品	大雪	大雪の予報により各県道沿線の計画的な通行止めが予想されることから、お荷物のお預かりを停止しております。

2023年1月25日9時現在

【参考】1月24日～26日の寒波

- ◆ 1月24日から強い冬型の気圧配置となり、今冬一番の非常に強い寒気が流入
- ◆ 1月24日～26日にかけて、並行する高速道路と同時通行止め（平均：約4時間）を行い、7路線延べ約310kmの区間において集中除雪を実施



【予防的通行止め】
路線：国道 470号（L=約31.3km）
区間：富山県高岡市六家地先～石川県七尾市大泊地先
時間：1/24（火）16:00～21:00（5時間）

【予防的通行止め】
路線：国道 8号（L=約16.7km）
区間：富山県小矢部市桜町地先～石川県津幡町舟橋地先
時間：1/24（火）16:00～19:00（3時間）

【予防的通行止め】
路線：国道 18号（L=約37.9km）
区間：新潟県上越市下源入地先～妙高市関川地先
時間：1/24（火）15:00～1/25（水）5:00（14時間）

【予防的通行止め】
路線：国道 41号（L=約11.6km）
区間：富山県富山市庵谷地先～岐阜県飛騨市神岡地先
時間：1/24（火）15:00～23:00（8時間）

【予防的通行止め】
路線：国道 8号（L=約149km）
区間：富山県下新川郡朝日町月山地先～新潟県長岡市宮本町地先
時間：1/24（火）15:00～19:00（4時間）

【予防的通行止め】
路線：国道 7号（L=約15km）
区間：新潟県村上市大須戸地先～新潟県村上市上大島地先
時間：1/24（火）12:30～14:00（1時間30分）

【予防的通行止め】
路線：国道 116号（L=約7.8km）
区間：新潟県柏崎市長崎地先～新潟県柏崎市西山地先
時間：1/24（火）15:00～19:00（4時間）

【予防的通行止め】
路線：国道 17号（L=約1.9km）
区間：新潟県小千谷三仏生地先～新潟県小千谷市高梨地先
時間：1/25（木）15:20～15:45（25分）

【予防的通行止め】
路線：国道 8・17号（L=約38.6km）
区間：新潟県見附市坂井町地先～新潟県魚沼市新道島地先
時間：1/26（木）17:50～19:45（1時間55分）

【凡例】
— 直轄国道
— 高速道路
— (直轄) 通行止め
— (高速) 通行止め



①【集中的除雪】1月26日 国道17号 新潟県長岡市

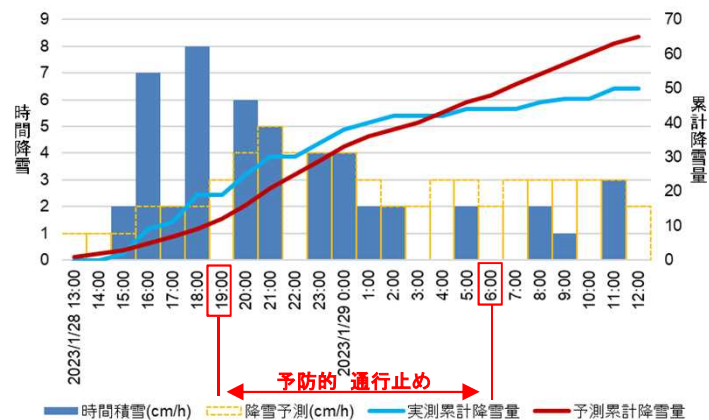


②【集中的除雪】1月26日 国道8号 新潟県長岡市

【参考】1月27日～29日の寒波

- ◆ 1月28日～29日にかけて短期集中的な降雪となり、長岡の観測所においては、予測を上回る降雪を観測
- ◆ 1月27日～29日にかけて、並行する高速道路と同時通行止め(平均:約9時間)を行い、4路線、延べ約250kmの区間において集中除雪を実施

国道17号 長岡 降雪状況



【予防的通行止め】

路線: 国道 8号 (L=約12km)
区間: 新潟県柏崎市天神町地先～新潟県柏崎市米山町地先
時間: 1/27 (金) 22:30 ~ 24:00 (1時間30分)

【予防的通行止め】

路線: 国道 8号 (L=約159km)
区間: 新潟県見附市坂井町地先～新潟県糸魚川市市振地先
時間: 1/28 (土) 19:00 ~ 1/29 (日) 6:00 (11時間)

【予防的通行止め】

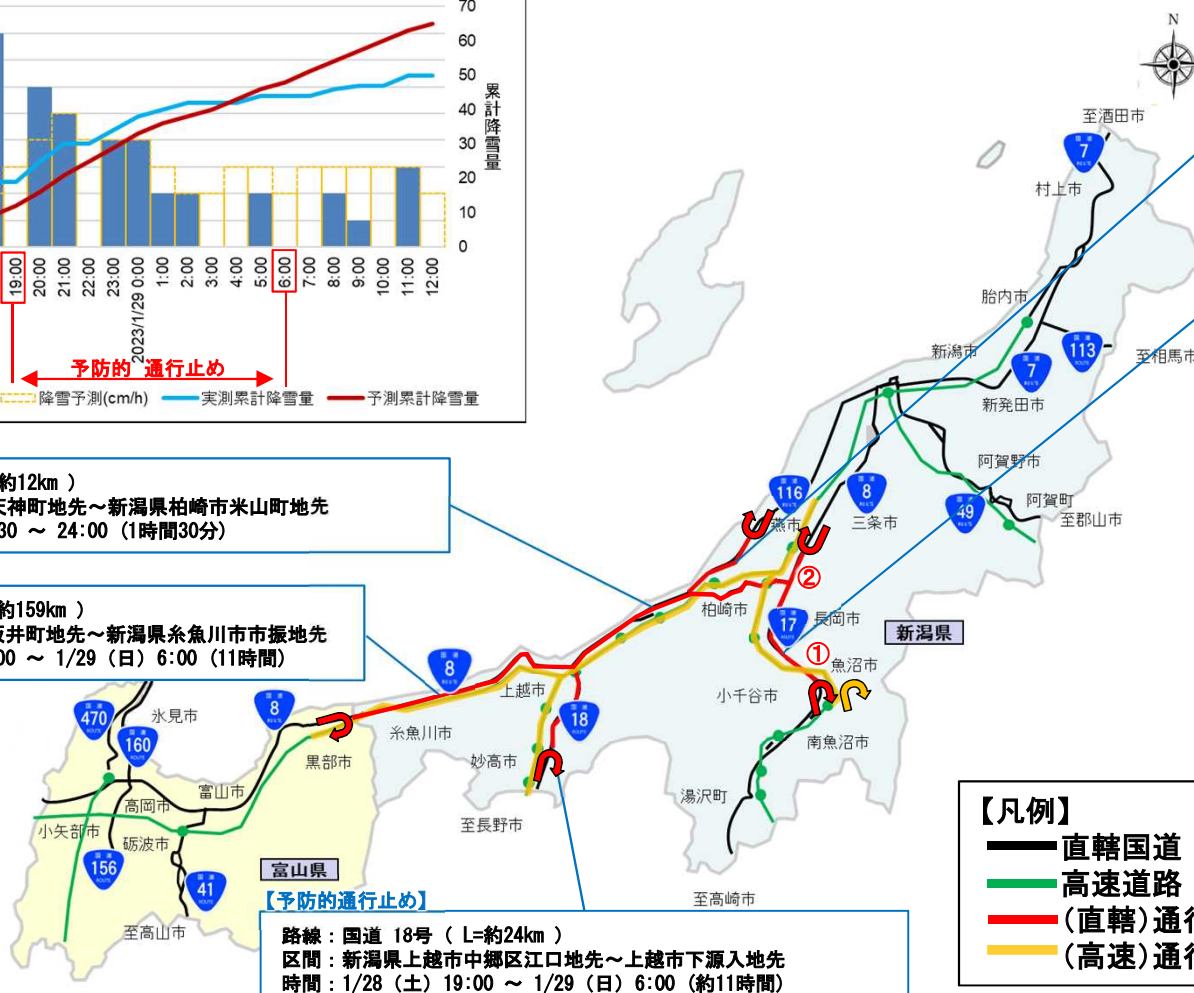
路線: 国道 18号 (L=約24km)
区間: 新潟県上越市中郷区江口地先～上越市下源入地先
時間: 1/28 (土) 19:00 ~ 1/29 (日) 6:00 (約11時間)

【予防的通行止め】

路線: 国道 116号 (L=約30km)
区間: 新潟県柏崎市長崎地先～新潟県長岡市寺泊五分一地先
時間: 1/28 (土) 19:00 ~ 1/29 (日) 6:00 (約11時間)

【予防的通行止め】

路線: 国道 17号 (L=約29km)
区間: 新潟県魚沼市下島地先～新潟県長岡市川崎町地先
時間: 1/28 (土) 19:00 ~ 1/29 (日) 6:00 (約11時間)



【凡例】

- 直轄国道
- 高速道路
- (直轄) 通行止め
- (高速) 通行止め

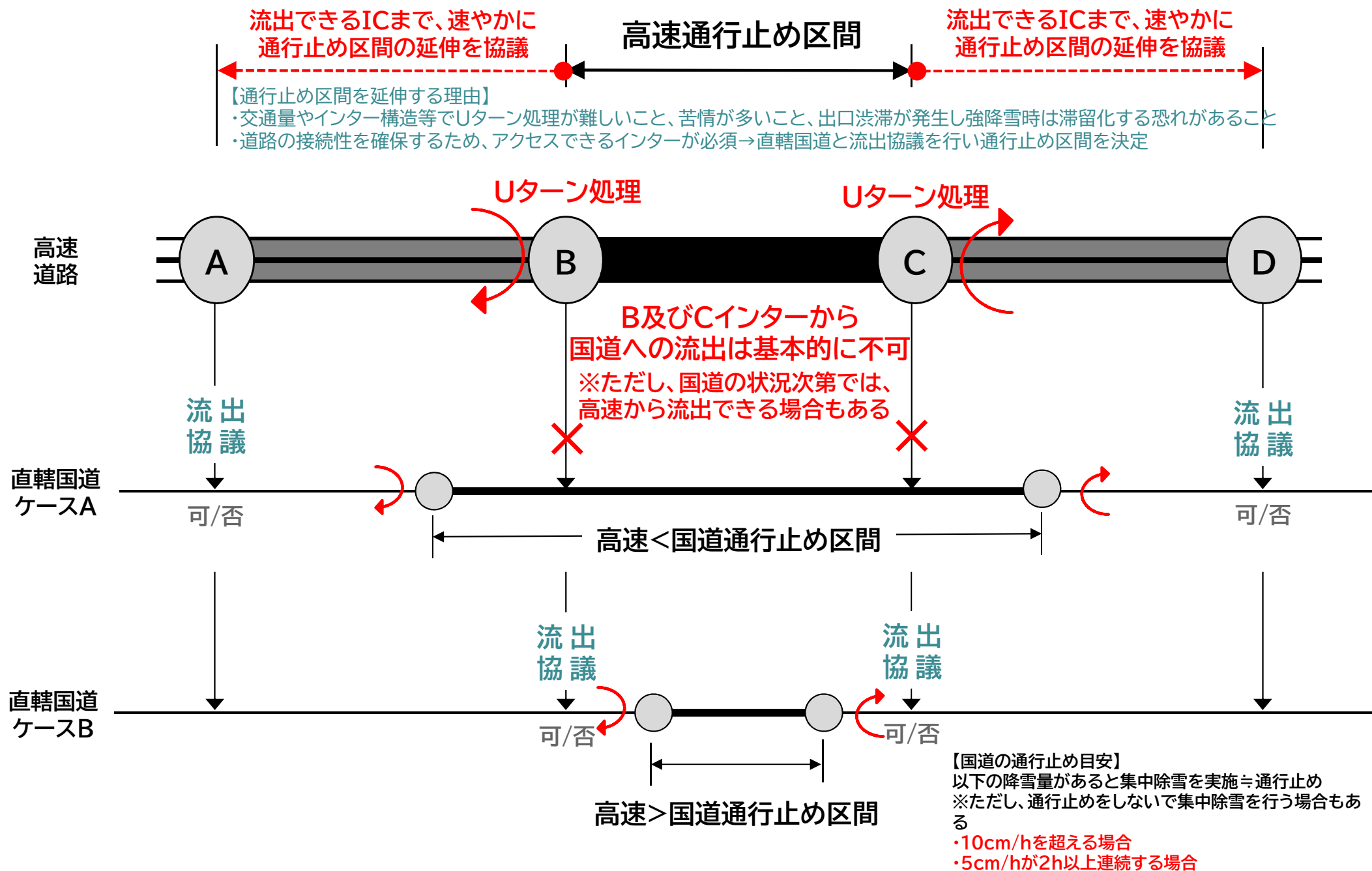


①【通行止め】1月28日 国道17号 新潟県魚沼市



②【集中的除雪】1月28日 国道8号 新潟県長岡市

【参考】高速通行止め時の基本的考え方

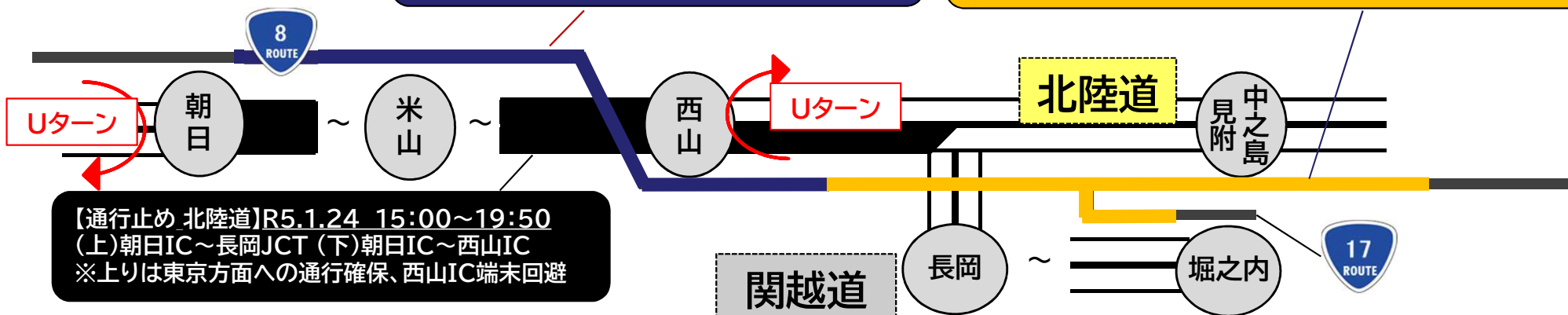


【参考】1月24日～26日の寒波（高速）

直轄国道通行止め
ケースB

【通行止め 国道】R5.1.24 15:00～19:00
(R8号) 富山県境(道の駅市振の関)～
長岡市宮本町(宮本除雪STA)

【集中除雪のみ 国道】R5.1.24 15:00～19:00
(R8号) 長岡市宮本町(宮本除雪STA)～見附市坂井北交差点
(R17号) 魚沼市新道島(堀之内除雪STA)～長岡市川崎町(川崎IC)



【Uターン処理内容】

【実施場所】

北陸道 西山IC
(北陸道(通行止区間)への流入車処理、関越道からの流入車処理)
北陸道 朝日IC
(富山方面からの流入車処理)

【対応状況】

- ・北陸道上り線のJCTランプ閉鎖ができないので、西山ICでUターン処理
- ・お客さまの理解が中々得られず、1台1台の処理の時間を要す
- ・UターンIC近隣住民等からの苦情
- ・事前準備が出来ないため、情報板だけでは情報不足

【対応状況写真】



・西山IC出口
の渋滞の様子



・西山ICの処理
状況(当初は外プ
ラで行っていた
が、車速が落ちた
ため、途中から内
プラ+西山基地
を使ったUターン
処理へ移行)

令和4年12月長岡・柏崎地域の大雪を踏まえた冬期道路の対応について（概要版）

◆本検討会では、令和4年12月新潟県中越地域で発生した大雪などの自然災害（豪雪）に対し、人命を最優先に大規模な車両滞留を回避すべく、関係機関が緊密に連携し、出控え等の行動変容の呼びかけや高速道路と国道等の同時通行止めによる集中除雪などによる早期交通確保を図るほか、通行止めなどの最小化に向けた雪に強い道路づくりなど当該地域における冬期道路交通確保に必要な取り組みをとりまとめたものである。

【第1回対策検討会（令和5年1月23日）】

行動計画の見直し

降雪量による行動計画【国】

- 降雪量の閾値による行動計画策定【国】
 - ・実測値判断により機械的に通行止め、集中除雪を実施
- 関係機関と実測降雪量を共有（情報連絡本部開設時）【国】
- 閾値による行動計画の実行力を高めるため、来冬に向けて訓練を実施【国】

情報連絡本部設置基準の追加【国】

- 降雪量の閾値により情報連絡本部設置を自動化【国】
 - ・予測値による従来の設置基準に加え降雪量実測値による設置基準の設定等
 - 閾値による情報連絡本部の設置を遅滞なく実行するため、来冬に向けて訓練を実施【国】
- 国道・高速道路の同時通行止め【国・高速共通】**
- 国道と高速道路のどちらかにおいて、交通障害が発生した場合、緊密な連携のもと躊躇なく同時通行止めを実施【国・高速共通】
 - 降雪地域への交通流入抑制を実施【国・高速共通】

災害対策基本法の運用見直し

- 降雪量の閾値による災対法区間指定（予防的通行規制区間）【国】
- 車両滞留が発生する恐れがある場合には、閾値により遅滞なく災対法区間指定を実施するものとし、実行力を高めるため、来冬に向けて訓練を実施【国】
- 荷主及び車両管理者への牽引等に関する周知【国】

予防的通行規制区間の追加

- 長岡市福島から小千谷市木津区間の予防的通行規制区間を新設【国】
 - ・閾値による除雪梯団の運用方針を共有[長岡・柏崎]
 - ・受注者等による通行規制要員の確保[長岡・柏崎]
- 柏崎市米山台から同市曽地間の予防的通行規制区間を新設【国】
 - ・柏崎市日吉町～天神町間を通行止めし、県管理区間（R252）を含む柏崎バイパスへの交通誘導
 - ・降雪機関を通じた除雪車の事前配備
- 建設業協会と通行規制要員確保の協力体制を構築【国】

各種情報提供及び出控え広報の強化

各事象毎の情報内容の追加

- 巡回強化などによる安全運転の徹底【高速】
- 出控え広報による交通量抑制【国・高速共通】
- 事前準備【国】
 - ・広報内容及び体制、タイミングを行動計画において事前設定等
 - ・気象（降雪）情報を踏まえた渋滞状況調査人員（地元業者等）の事前確保
- 建設コンサルタンツ協会と定期的に調整を図り、現地調査要員確保の協力体制を構築
- 大雪警報発表時【国】
 - ・道路情報板で「大雪警報発表中」と「不要不急の出控え」表示
- 事象発生時：立ち往生車両発生【国】
 - ・スタック車の情報提供、マスコミに対し定時の記者発表の実施
 - ・滞留しているドライバー向けに定時での情報発信（今後の見通し、乗員保護活動等）
 - ・Twitterによる「大型車チェーン必要」の情報発信

【第2回対策検討会（令和5年3月23日）】

除雪能力を大幅に超える降雪への対応

効率的な広域迂回に関する情報提供【国・高速共通】

- 5機関共同会見（北陸地方整備局、気象庁、NEXCO（東日本・西日本）、北陸信越運輸局）による事前の情報提供、出控え要請の徹底【国・高速共通】

除雪体制・監視体制の強化【国】

- 急勾配区間等に消融雪施設を検討・設置[柏崎]
- 除雪機械の増強（除雪ドーザ）と、大雪予測時の除雪機械事前配置（ロータリ除雪車）により、路肩幅員狭小区間を集中除雪[柏崎]
- R8柏崎バイパスの交通確保を最優先し、市街地部での滞留発生を抑制するため、堆雪処理に時間を要する柏崎高架橋区間等に消雪パイプを設置[柏崎]
- R17高畑南交差点前後に、消雪パイプを設置[長岡]
- 除雪工区境のR17越の大橋付近について、長岡工区、堀之内工区の両工区が重複して除雪し、除雪頻度増[長岡]
- 迅速な除雪作業に向けた体制強化[長岡・柏崎]
- CCTVカメラを増設、監視体制強化[長岡・柏崎]

迅速な予防的通行止めと早期の通行止め解除【国】

- 除雪支障車両の待避スペースを本線脇に確保（非常駐車帯の拡大等）[長岡・柏崎]
- 滞留車両の本線Uターン可能箇所の確保（中央分離帯の開口部設置等）[長岡・柏崎]
- 通行止め規制箇所に職員や規制要員の待機・休憩施設、仮設トイレ設置[長岡・柏崎]
- 駐車場（待避スペース）整備や遠隔操作による通行止め装置導入等、迅速な予防的通行止めに資する施設の整備[その他]

気象予測精度向上による雪氷体制検討【高速】

- JPCZに対する気象予測の継続検討

交通障害の早期解消【高速】

- 大雪予測時、集中降雪時及び通行止め時の1.5車線（1車線＋緊急車両通行帯）等の柔軟な交通運用を実施するための目安の明確化（継続実施中）
- 通行止め時においても緊急避難路として高速道路を活用する場合の運用オペレーションの確立
- 上振れした降雪時における応援体制の強化
- ICへのアクセス道路の除雪対応の明確化・緊密な連携

渋滞・車両滞留状況の把握

- CCTVカメラを増設、監視体制強化【国】（再掲）
- 従道路側の状況を早期に確認・共有し、従道路管理者への除雪の要請や自治体を通じた出控え広報を実施する行動計画を立案。実行力を高めるため、来冬に向けて訓練を実施【国】

更なる対応力向上に向けた取り組み

- 降雪量データの補完を目的に、簡易レーザース式積雪深計を5箇所試行設置（R5.2月）、閾値付近の降雪量となる場合、簡易レーザース式積雪深計のリアルタイムデータから面的に降雪状況を把握【国】
- 路面状況や立ち往生車両の早期発見のため、立ち往生発生箇所に簡易カメラ（インターバル式）を6箇所試行設置（R5.2月）、状況把握を強化【国】
- R5年度以降は簡易レーザース式積雪深計、簡易カメラともに箇所を増設し運用【国】

令和４年度新潟県内の冬期道路に関する対策検討会
第２回対策検討会
議事概要

1. 日 時 令和５年３月２３日（木） １０：００～１２：１０

2. 議事概要

1) 令和４年１２月 集中降雪を踏まえた対応について

○第１回対策検討会で整理した当面の対応について、令和５年１月の寒波における実施状況を確認し、今後の対応策を検討

○当面の対応の実施結果も踏まえ、次年度以降に向けた対応の具体内容について整理し、第１回対策検討会での検討内容とあわせ、別紙のとおり当該地域における冬期道路交通確保に必要な取り組みとしてとりまとめた。

○とりまとめた取り組みについては、関係機関において確実に実行し、今後の冬期道路の対応に反映させていくことを確認

2) 対策検討会について

○今回の対策検討会における「取り組みのとりまとめ」および「取り組みを関係機関が確実に実行していくこと」の確認をもって、本対策検討会での検討は完了とする。

3) その他、ご意見 等

○第１回の検討会での対応方針は、１月下旬の寒波の際には有効に機能したと思う。

○一般車両の抑制が重要であり、行動分析も含めて出控えを促すような情報提供内容を検討してほしい。

○一定規模の事業所等はＢＣＰ計画をもっているが、雪を対象とした計画はあまりないと思う。企業による雪関係のＢＣＰ策定に向けたガイドブックの作成等は有効だと思う。

○国道の広域的な通行止めは、実態としてはエリア外からの車両流入規制である。今後表現の工夫を検討すべき。

○今回の検討結果は関係機関内でしっかり伝承していったほしい。